
浦安まちづくり市民会議

実施報告書

令和3年（2021年）7月

浦安市

目次

1	浦安まちづくり市民会議の概要	1
	(1) 開催の目的	1
	(2) 参加者	1
	(3) 開催概要	1
2	各回の開催概要について	2
	(1) 第1回浦安まちづくり市民会議	2
	(2) 第2回浦安まちづくり市民会議	3
	(3) 第3回浦安まちづくり市民会議	20
	(4) 第4回浦安まちづくり市民会議	39
	(5) 第5回浦安まちづくり市民会議	57
3	(参考) 浦安まちづくり市民会議だより	75
	(1) 浦安まちづくり市民会議だより 第1号	75
	(2) 浦安まちづくり市民会議だより 第2号	77
	(3) 浦安まちづくり市民会議だより 第3号	79
	(4) 浦安まちづくり市民会議だより 第4号	81

1 浦安まちづくり市民会議の概要

(1) 開催の目的

(仮称)浦安市まちづくりに関する条例の制定に際し、前文の要素となる市の魅力や特徴、将来展望や、市や市民の役割などに関して、多様な市民により議論を交わし、条例に反映するための意見の聴取を目的としています。

(2) 参加者

会議への参加案内を、無作為抽出した18歳以上の市民の方3,000人に対して郵送しました。その結果、103名の市民の皆さまから参加の応募がありました。

(3) 開催概要

会議は5回開催し、第1回は千葉大学大学院の関谷教授による講演、第2回以降は市民同士のワークショップ形式で議論を行いました。

会議は新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、第1回の講演は、動画配信で行い、第2回以降はオンライン形式で実施しました。

日程	テーマ
第1回 令和3年1月29日	【動画配信】 「新しいコミュニティとまちづくり～基本条例の制定に向けて～」 千葉大学大学院社会科学研究院教授：関谷 昇 氏
第2回 令和3年2月20日	「市民一人ひとりの幸せを思い描く」 参加者 80名
第3回 令和3年3月20日	「市民一人ひとりの幸せのために、浦安市の未来を思い描く」 参加者 66名
第4回 令和3年5月22日	「まちづくりにおける市民と市の役割等について」 参加者 55名
第5回 令和3年6月26日	「まちづくりにおける市民と市のつながり（連携・協力）について」 「浦安まちづくり市民会議を振り返って」 参加者 52名

2 各回の開催概要について

(1) 第1回浦安まちづくり市民会議

1) 動画配信日

令和3年1月29日(金)

2) プログラム

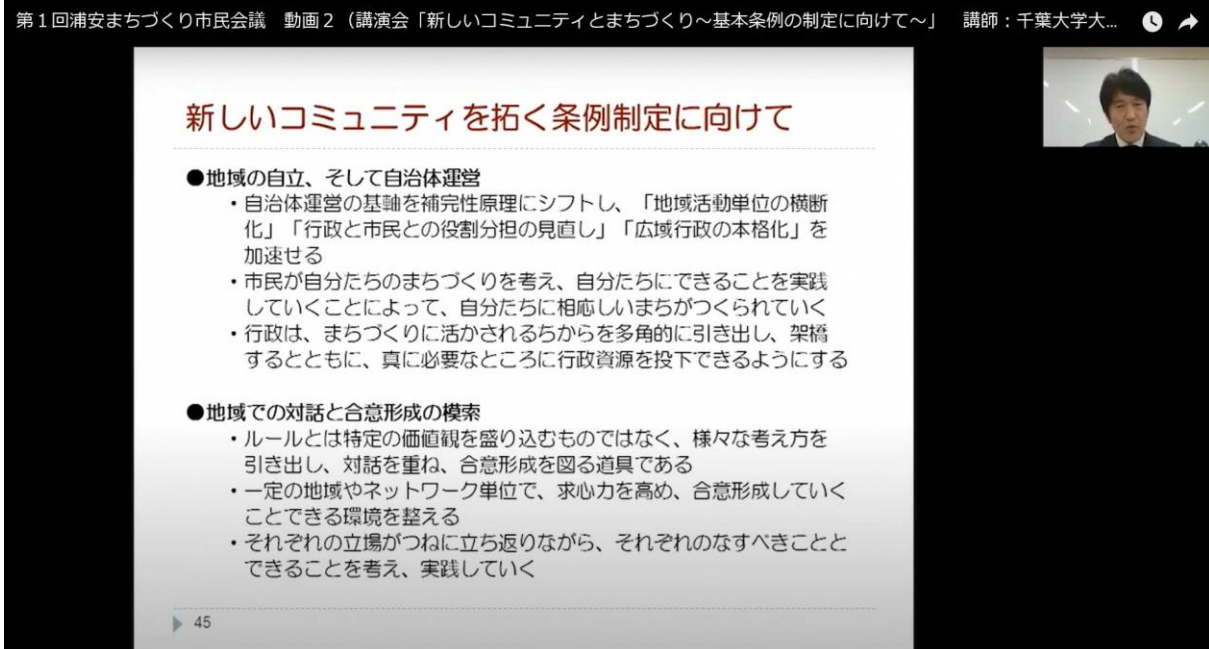
- ① 市長挨拶
- ② 浦安まちづくり市民会議概要等説明(事務局)
- ③ 講演「新しいコミュニティとまちづくり～基本条例の制定に向けて～」
(千葉大学大学院社会科学研究院教授：関谷 昇 氏)

3) 講演目次

- ① 時代の転換期と自治体をめぐる課題
- ② 改めて問われる政策軸：自治 or 市場
- ③ コミュニティをめぐる根本的課題
- ④ 「関係性」のまちづくり
- ⑤ 基本条例の原点

【講演動画】

第1回浦安まちづくり市民会議 動画2 (講演会「新しいコミュニティとまちづくり～基本条例の制定に向けて～」 講師：千葉大学大...



新しいコミュニティを拓く条例制定に向けて

- 地域の自立、そして自治体運営
 - ・自治体運営の基軸を補完性原理にシフトし、「地域活動単位の横断化」「行政と市民との役割分担の見直し」「広域行政の本格化」を加速せる
 - ・市民が自分たちのまちづくりを考え、自分たちにできることを実践していくことによって、自分たちに相応しいまちがつくられていく
 - ・行政は、まちづくりに活かされるちからを多角的に引き出し、架橋するとともに、真に必要なところに行政資源を投下できるようにする
- 地域での対話と合意形成の模索
 - ・ルールとは特定の価値観を盛り込むものではなく、様々な考え方を引き出し、対話を重ね、合意形成を図る道具である
 - ・一定の地域やネットワーク単位で、求心力を高め、合意形成していくことのできる環境を整える
 - ・それぞれの立場がつねに立ち返りながら、それぞれのなすべきこととできることを考え、実践していく

▶ 45

※講演動画については、市ホームページからご覧ください。

(<https://www.city.urayasu.lg.jp/shisei/keikaku/1031564/index.html>)

(2) 第2回浦安まちづくり市民会議

1) 開催日時・参加者数

令和3年2月20日(土)

午前：10時～12時 参加者：40名

午後：14時～16時 参加者：40名

2) テーマ

「市民一人ひとりの幸せを思い描く」

3) プログラム

時間 上段：午前 下段：午後	内容
10:00-10:10 14:00-14:10	■市長あいさつ ■会議の目的説明
10:10-10:25 14:10-14:25	■対話のルールについて ■自己紹介&「浦安まちづくり市民会議」に参加した目的【※】
10:25-10:55 14:25-14:55	【対話1】【※】 ■「浦安市の良いところ、魅力」
	(休憩(5分))
11:00-11:25 15:00-15:25	【対話2】【※】 ■「浦安市の気になるところ、課題」
11:25-11:40 15:25-15:40	■全体発表
11:40-11:50 15:40-15:50	【対話3】【※】 ■「それぞれの幸せ、どんなまちが幸せ？」
11:50-12:00 15:50-16:00	■写真撮影 ■事務連絡

【※】ブレイクアウトルームに数名のグループに分かれ、グループディスカッションを実施

4) 開催結果

対話1～3について、参加者の皆さまからいただいた主な意見を項目ごとに整理して、記載しています。

①対話1「浦安市の良いところ、魅力」

項目	主な意見など
街並み・景観	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 昔ながらの街並みと新しい街並みが入り混じっているところ ➤ 昔ながらの住宅が残る浦安駅から新浦安のような新しい街もあって楽しい ➤ 街がそれぞれバラエティに富んで、新しい発見があり面白い
水辺・環境	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 境川の桜が綺麗 ➤ 東京湾を一望できる公園の風景 ➤ 川沿いを散歩するのが好き
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 高洲海浜公園、総合公園など子供と遊べる場所が多い ➤ 綺麗な公園が多い ➤ 図書館が大きい
アーバンリゾート	<ul style="list-style-type: none"> ➤ TDRのブランド力がある ➤ 成人式がディズニーで出来る ➤ 一番の自慢はTDR
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 三社祭の100基以上の神輿 ➤ とにかく祭りが多い！百縁商店街もいい思い出 ➤ 境川のカフェテラスは、夫婦でも子連れでも屋台やイベントを楽しめた

②対話2「浦安市の気になるところ、課題」

項目	主な意見など
水辺・環境	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 境川は好きだけど、もっと水質が綺麗なら嬉しい ➤ 海側の景観など水資源はあるのに、体験できる場がない ➤ 綺麗な海岸がなく、海まで距離があって近づけない
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 歩行者と自転車の距離が近く危ない ➤ 自転車専用道路がもう少し増えると安心 ➤ 元町・中町・新町間の交通手段が少ない為、分断される
交流・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 近隣や世代間でのコミュニケーションが不足している ➤ 新町に住んでいると近所とのコミュニケーションがなく、元町のようにお祭りがあるといい ➤ 世代間の交流・コミュニケーションができる身近なカフェなどの場があるといい
行政サービス・支援	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ボランティア活動に対する支援が少ない ➤ 今後の高齢化社会に向けた支援
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自分の住んでいる地区外のことが分からない ➤ 浦安のいいところを外部の人が知らない
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 魚市場がなくなったのが残念 ➤ 小さなお店が増えてほしい
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地区によっては公園が少ない ➤ 図書館を中心に市民の交流プログラムが増えるといい
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 台風など自然災害が気になる ➤ 震災対策、インフラ維持

③対話3 「それぞれの幸せ、どんなまちが幸せ？」

項目	主な意見など
交流・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ➤ いろんな意見を言い合うことが幸せな浦安 ➤ コミュニケーションが多いまち ➤ 浦安に住んで良かったなと思えることが幸せ。一時的でもずっと住んでいてもコミュニケーションがオープンな街であってほしい
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 安心して安全に住める街 ➤ 震災があっても安心して暮らせる街 ➤ 液状化の心配なく、安心して生活できる
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 赤ん坊から一生住み続けられる街 ➤ 景観がきれいで住みやすい街
医療・健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 高齢者が安全・安心に運動できるような環境 ➤ 健康でいること、医療施設が整っていて安いこと
子ども・教育	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 少人数教育、学びやすい環境 ➤ 子どもが健やかに育つ

5) Google スライドへの書き込み

対話1～3のグループディスカッションでは、Googleの提供するサービス「Google スライド」を使用し、ファシリテーターが参加者の皆さんの意見を書き込み、書き込まれた意見を見ながら参加者同士で意見交換を行いました。

なお、第3回以降もGoogle スライドを利用して会議を実施しました。

- ①対話1「浦安市の良いところ、魅力」
- ②対話2「浦安市の気になるところ、課題」
- ③対話3「それぞれの幸せ、どんなまちが幸せ？」

グループ3

例) ディズニーで、幼き娘が乗り物に乗れなかった時、クルーがバスをくれた。がんばって大きくなろうと話した

夕方、屋形船が見えて綺麗 釣り船もたくさん

境川 白鷺を見るのが楽しみ

例) 電車が混む、強風で止まる。他の交通手段がない。

行政をチェックしたり修正できるシステムがあるとい

景観がきれいになって、住みやすい、人が入ってきやすい。

一番の自慢はやはりTDR。子どもたち三人は成人式を迎えました。うち一人は今年です。

清流神社でお参り、ふらわー通りを歩き、豊受神社に行くのが好き

境川が綺麗ではない。

川：海楽、住宅地の細い川が汚い。境川より・・・ゴミ、草が多い。清掃されているか??

若い人が東京などにでてしまう。働く場所が少ない

旧江戸川土手沿いのウォーキングコース。景色がきれい

あまりないかも・・・三番瀬に入れない

新しい街の方には人の交流や食べに行く場所が少ないかも

元町、中町、新町

古い方の街と新しい街の違い。新しい街に飲み屋が少ない

コンビニも少ない

100機以上のおみこし

新しい街は人の流れが少ないように感じる

コミュニケーションが一番大事。設備も大事だが、近所の人もコミュニケーションが取れる方がいい

子どもたちが小さいときに毎日世話になった千鳥の運動公園も思い出深いです。

日の出の総合公園。子どもとサッカー。遊歩道で散歩。

ハブニングが少ない事が一番。対話、挨拶がしあえる環境。

浦安マリナーで海を満喫しています。

猫実、堀江一丁目住宅密集地。原風景できなところ。

居住食。労働確保、さらにエンターテイメントがあるといい。

グループ7

公民館 図書館が多く知識を深められる

鉄鋼通り

公園など市の魅力的な場所が市民で共有できれば

将来高齢化が進む

TDRのイメージが強すぎる

図書館が大きい郷土博物館

自然のなかで生活できる 散歩・ジョギングができる

大規模団地の建て替え 老朽化対策

TDR以外の事業者がない 財政上が懸念

東京に近い浦安駅周辺に店も多い

新浦安駅周辺が便利 飲食店多い 洋服も

京葉線が風でとまると東京に出られない

人が交流できる場があると良い(知られていないので情報を共有する)

浦安小学校の盆踊り 花火大会と違う雰囲気

TDR 消防本部 三社祭

震災前後で対応が進んでいるのか情報公開が必要 特に戸建てなど

境川の桜がきれい

高洲海浜、総合公園など公園が遊びやすい

街の魅力が知られていない(元町のお店など) 情報発信

東西線浦安の鉄橋

自然が身近に感じられる 子供が遊べる

街を周遊できる仕組み 情報発信

元町の個人商店

世代間の交流 コミュニケーションができる身近なカフェなどの場

震災対策 インフラ維持

震災の影響が未だに残っている 液状化対策

みんなが助け合うようなまち

震災があっても安心して暮らせるまち インフラがつかえる

支えあい コミュニケーションがとれるまち

赤ん坊から一生住み続けられるまち

絆が生まれ 安心して暮らせるまち

色々な方とコミュニケーションがとれて支えあえるまち

6) いただいた意見

Google スライドに書き込まれた意見を、項目ごとに整理して、記載しています。

①対話 1 「浦安市の良いところ、魅力」

※ () 内は意見数、以下同じ。

街並み・景観 (57)
昔の街からは想像できない美しい街づくりをしてくれた行政の方に感謝
まっすぐな道は気持ちいい！スッキリする！
街並みが違う。日本でないみたいに美しい
街並みが美しい、子育てにもよい、境川で釣り
東西線の浦安駅のディープな感じがよい
東西線浦安の鉄橋
清流神社でお参り、フラワー通りを歩き、豊受神社に行くのが好き
新浦安のマンション購入を以前検討、街並みが綺麗で住みやすい印象
境川のレンガ造りとか昔ながらの景色もある
運動しようと思えば浦安を1周したら、結構整備されている
昔は遊歩道が整備されてなかったけど今は綺麗
街並みが綺麗で住みやすい印象
堀江ドックを小さいころ家族で散歩した。景色が良い。
東野のさくら通り、初めて見たときに感動した。都会だと思ったが季節や時代の流れを感じられる
春に散歩、桜並木が綺麗なのを思い出した
猫実は朝は食事のにおい、昼は三味線の音、小さな雰囲気の良い路地
東西線の高架は桜の木もあり好き。新入社員時に気が引き締まった思い出。
総合公園や運動公園などの公園、道がまっすぐできれいな街並み、外国のような雰囲気
住宅街が落ち着いていて気に入っている
埋立地だけかもしれないが、電柱がない
以前はマンションが乱立して景色の見えない場所に住んでいたが、浦安は空や星が見えるのがいい
安全通路で道路が広く歩きやすい
朝早いと朝焼けを自分一人で独占できる。歩道橋の上から見る花火。
朝、空が見えるのがすごくよかった。日々空を見て生活できる
東京に近い、浦安駅周辺に店が多い
新浦安駅周辺が飲食・洋服屋も多く便利
こじんまりしている。引っ越してきたときに散策したが、元町に特色ある店が多くていい。出会いが魅力。
浦安駅の近辺に佃煮屋や海苔屋があり、人情味がある
道が広い、運動公園など犬と一緒にランニングできる
高洲の橋の上、桜並木など走っていて気持ちいい
高洲・明海・舞浜はランニングするにはすごくいい
自然の中で生活できる、散歩・ジョギングできる

ランニングコースによい
ランニングコースが整備されていておすすめ
夜のジョギングで富士見、しおかぜ緑道～市役所前のグラウンドの辺りが一番好き
明海・日の出の公園外周のジョギングコースが素晴らしい
堀江のフラワー通りは散歩におすすめ。
日の出・明海、震災後の復旧、シンボルロード、運動するのに適している
元町、中町、新町
昔ながらの住宅が残る浦安駅から、新浦安のような新しい街もあって楽しい
町の中のウォーキングがある。新浦安とこんなに違うと思う。古い町並み。
街がそれぞれバラエティに富んで、新しい発見があり面白い
古い町並み、漁師さんとか小さなお店やアパートがあったり、歩いてみるとお寺が少ない。小さな村があった感じがする
猫実・堀江一丁目など住宅密集地の原風景的なところ
新旧ごちゃ混ぜの魅力
自分が住んでいる元町で、新しい街の公園などはどこにあるか把握できなかった
散歩で古い住宅街や新規住宅街など新旧あって散歩するところが多い
境川沿いの堀江・猫実の古い町並みが好きです
新しいエリアが中心で、古いエリアやイベント情報をもっと伝われば。
どのエリアも好きですが、強いてあげれば海楽エリア
東西線と京葉線の雰囲気の違い、いくつもの多面性のある街
新町はテレビにもてはやされる街、元町はほっとする昭和感
コンパクトな市内に特色ある街
浦安各地の遠足、バリエーション豊かな街
浦安駅は歴史的な建物を保存しており、町の成り立ちや江戸時代から続いている実感があって歴史もわかる
浦安駅エリアは歴史がある
入り組んだ路地で弁財天が住宅地にある
水辺・環境（41）
夕方、屋形船が見えて綺麗、釣り船もたくさん
東京湾の眺めがいい
総合公園で運動するのが好き。海も見えて、景色も最高です
総合公園、初日の出を見に行く。房総半島の山が綺麗に見える。子供と行って凧揚げ、風が気持ちいい。
整然とした街、公園、海岸線が魅力で市外の人にも発信したい（すべき）
境川の桜が綺麗
クリーンセンターの先から、ゲートブリッジと富士山と太陽が一直線になる、ダイヤモンド富士が見える場所がある
舞浜の海沿いの夕日がきれいで富士山も見える

日の出の東側の三番瀬を残してほしい。海苔がおいしい
日の出・三番瀬の遊歩道が好き
バイクでツーリングする際に海沿いにリゾート感がある
猫実の川沿いの遊歩道
猫実の河川敷はよく整備されている。街灯も綺麗。
高洲の海浜公園は海が見えて眺望がいい
総合公園、東京湾が一望でき犬と散歩もできる。高層マンションや綺麗な街並み。
境川はスカイツリーや東京湾が見える景観が印象的
境川の桜が綺麗
海沿いをダイエットで走っていたが、花火も見られる
明海の総合公園は海があって広々とした芝生がある
総合公園周辺のサイクリングロード、海岸沿いの欧米の雰囲気
TDR以外にも魅力が多く、海を見ながらのマラソン、飛行機のレースもある
自然が身近に感じられる、子供が遊べる
三番瀬の遊歩道、震災後にいいものができた。散歩でたくさんの人が歩いている
三番瀬沿いの遊歩道、色々ありましたが憩いの場となっていますね
境川でランニングをするのですが、桜など季節を感じることもできますし、何も考えずに水面を見てぼーっとできる場所も気に入っています。
旧江戸川土手沿いのウォーキングコース。景色がきれい
海楽から日の出までの海沿いの道をサイクリングしていました
コロナ禍前は、日の出の海沿いを夫婦で散歩した
海浜公園の投げ釣りやディズニーランドのモノレールに子供と行った思い出
すぐそばに海が見れる。自転車ですぐ行ける
潮干狩り、海浜公園からみたホテル群が印象深い。海が近い、思い出がある
境川で白鷺を見るのが楽しみ
浦安マリーナで海を満喫しています
浦安マラソン。水辺が多い、水の都
10年以上前の子供が小さいころ、潮干狩りを三番瀬でやった
昔は三番瀬で潮干狩りができていた
総合公園のビオトープや、川沿いの桜
桜の名所がある、潮干狩り
旧江戸川沿いに屋形船がある
海に面していて東京に通勤しやすい
船に乗っている人がいて、乗りたいと思った
公共施設（29）
総合体育館でトリムバレーの大会、TDR近くのマンションが好き
図書館が大きい、郷土資料館

図書館
高洲海浜公園・総合公園など遊びやすい
子供たちが小さい時に毎日世話になった千鳥の運動公園も思い出深いです
公民館、図書館が多く知識を深められる
綺麗な公園が多い。弁天公園、運動公園、総合公園すべて充実
郷土資料館が気に入っている
浦安体育館のそばに野球場ができた、高校野球が誘致出来たら。有名な選手がいる
若潮公園におにぎりを持って行き、交通公園に子供を連れて行った
日曜日に市役所が空いていることがあり、いろんな相談ができてありがたい
総合公園は家族連れが多く、バーベキューをしたり、物思いにふけったりできる
運動公園の野球場
運動公園の新設された野球場は息子が公式戦をやった。撮影でも使われている。
総合公園と、そこに抜ける道の雰囲気。幼稚園見学の際に、その景色が決め手になった
総合公園で子どもと散歩
総合公園で景色を見ながら一杯
子どもが遊ぶ公園と親がくつろぐ公園が街の真ん中であって歩いて行ける
交通公園は、春は桜が電車からも見える。動物も飼育されている。
公園も広く沢山あってリラックスできる
公園でほっとできる場所がある。海があるだけでなく、家族で過ごせる場所がある
運動公園は高校のころから毎週フットサルサークルで使っている
明海・日の出・高洲が好きで、テニスやジョギングしたりスポーツ好きには絶好
総合公園で子どもとサッカー。遊歩道で散歩
東野プールは毎年子どもとの楽しい思い出です
パークゴルフ、高洲海浜公園、6時30分の高洲中央公園でのラジオ体操・犬の散歩
高洲海浜公園で子どもたちと遊んだのは気持ちよかった
しおかぜ緑道を散歩している
高洲海浜公園は釣りができてよい
アーバンリゾート（12）
舞浜のディズニーでアルバイトが楽しく、嫌なことを忘れられた。日の出地区はヤシの木など日本ぽくなく、写真を撮りたくなる景色が多い
富士山とTDRと花火が見える
ディズニーランドやイクスピアリでの買い物
一番の自慢はTDR。子供たち三人は成人式を迎えた
毎年ディズニーランドに来ていて、年間パスポートも買っていた
TDRのブランド力がある
成人式はディズニーランド！
TDR、消防本部、三社祭

成人式がディズニーランドで良い
結婚式をイクスピアリで挙げた
成人式をディズニーでできたこと
ディズニーが好きで、以前バイトしていた
イベント（7）
とにかく祭りが多い！百縁商店街も良い思い出
ディズニーリゾートが大好き。娘の成人式をディズニーでやりたかった
境川のカフェテラスは、夫婦でも子連れでも屋台やイベントを楽しめた
浦安小学校の盆踊りは花火大会とは違う雰囲気
一番印象が大きいのは三社祭。100基以上のおみこし
豊受神社で月替わりの御朱印がもらえるので夫婦で行く
富岡の祭り、三社祭、漁師町の風情
その他（18）
元町の個人商店
猫実の豊受神社あたりは子供が遊べる場所がある
豊受神社によく行った
新浦安駅前はファストフードもあり便利
新浦安駅周辺は欲しいものがそろっている
子育て支援が充実している
魚市場があっておいしいものが多かった
週末は自転車で走っている
鉄鋼通り
鉄鋼団地はすごい！日本一自慢
治安が良い
市の面積が狭くて一周しやすい
都内に近いのが便利
土地が平坦
住んでいる人の気質が多様で魅力的
車がなくても便利
おさんぽバスが良い
エアラインにも近い

②対話2「浦安市の気になるところ、課題」

水辺・環境（33）
ランニングに江戸川沿いはいいが、ディズニーの裏側は海も見えないし、境川も一帯では整備されていない
元町の公園が狭く子供の遊び場不足、ごみの捨て方が問題
水、公園、境川といった水辺の良さを活用できておらず、水辺の魅力を高める

街がきれいすぎ、自然を感じられる場所が少ない。海岸線も海に出られると嬉しい
ディズニー周辺からサイクリングをするが、鉄鋼団地で景色が途切れる
三番瀬に入れない
境川は気に入っているのですが、もう少し水が綺麗だと嬉しい
境川があまりきれいではない
景観上、水をもっと利用してほしい
環境・開発に関する考え方が古い
街路樹の緑道整備不足
海楽地区の住宅地の細い川が境川より汚い。ごみ・草が多く清掃されているか？
海の街といいながら、海が遠い（三番瀬、釣り場）
海の景色を知ってほしい。ジョギングコースなど
海が見えて景色がいいのももっと生かして、市民以外が楽しめるものが欲しい
アジア系外国人のゴミ出しルールがされていない
湾岸道沿いのごみが気になる
若潮公園内でのタバコが気になる、ポイ捨ても。
路上喫煙を多く見かける
緑が沢山あるが、生け垣にあるごみが気になる
農地がなく、農業体験できる場所がない
スーパーから持ち出されたカゴが放置されている
境川の上流が汚い。コロナ禍でも運動会などできるといい
境川が綺麗ではない、海の近くで貝拾いなど綺麗で遊べるところが欲しい、釣りも綺麗なところでしたい
ごみ箱があれば便利
護岸が砂浜になると素敵な海岸線になると思う
景観が良くて引っ越してきたが、ホテルの建設も増えてきており、空き地もあっていいのではない か。公立の小中学校の教育の多様化を希望
綺麗な海岸がなく、海まで距離があって近づけない
浦安ジャンクションのタバコのポイ捨てはひどく、ボランティアが拾っている
海を生かしたい
海側の景観など水資源はあるのに、見るだけで体験できる場がない
TDRのある市に住んでいる特権を！緑の植え替えなど
市管理の植栽の手入れが行き届いていない
道路・交通（29）
歩道が狭く、自転車が近くを通って危ない
当代島など道が狭く、歩道は高齢者に歩きづらくて危ない
東西線の方は駐輪場が少ない
自転車用道路が増えてほしい
自転車走行ラインが少ない

自転車専用道路がもう少し増えると安心
意図的に人が入らないように設計しているように感じる
物流拠点ができ住宅街に大きなトラックが入る。住居と産業地域の住み分けが必要
日の出から新浦安に向かうと自転車のマナーが悪い
道路に注意する人・看板を増やしてほしい
電柱のない場所がいい
シンボルロードの歩行者と自転車のルールが守られていない
自転車マナーが悪く、スピードを出して思いやりがない
交通トラブルがあると移動に非常に困る
交通安全、自転車、徒歩でもひやっとするシーンがある
マンションがどんどん建つにも関わらず、通勤快速が止まらず混んでしまう
弁天地区でたまにバスを利用すると、高齢者のバスの昇降がつからそうで、ステップの工夫を
バス路線が分かりづらく、浦安方面・市役所方面、観光客も質問している
電車が混む、強風で止まる、その他の交通手段がない
電車が強風で止まりにくくなった。発展しきった今、どうやって維持するか
新浦安と浦安駅周辺の移動がしにくい
京葉線が風で止まると東京に出られない
元町・中町・新町間の交通手段が少ないので分断されているのでは。
バイクの駐車場がない
徒歩で買い物に行くと風が強く、雨宿りや休憩場所もないため歩行者に優しくない
電車が台風で止まると東西線の浦安までのバスが混むので代替輸送が欲しい
地震がいつ来るかわからず、液状化が不安。車がないと、市の隅々まで行けない
京葉線の遅延が多く、災害時に困る。日の出は空き巣も多い
京葉線が止まると代替手段がなく、陸の孤島になる。地震時の埋立地の地盤強化
交流・コミュニケーション (23)
元町のごみのポイ捨て、路上喫煙、ごみ出しマナー。人の交流がエリアで分かれてしまっている
街並みがいいがワンブロックごとに広く近所の人とのコミュニケーションがとりづらい
人が交流できる場があるといい、知られてないなら情報共有する
世代間の交流・コミュニケーションができる身近なカフェなどの場があれば
市民会議だけでなく広く市民参加ができるとよい
高齢者と若者の接点が欲しい
浦安と新浦安の心理的距離がある
生まれてから浦安に住んでいて、4年前から祭りの楽しさがわかった。市川や他市からの参加があり、繋がりや優しさを感じた
新しい街の方には人の交流や食へに行く場所、コンビニも少ないかも
3年前に越してきて、浦安の祭りのコミュニティに新しい人が入るきっかけがなく、寂しい
元町は回覧板があるが、地域差がある

元町と新町で気質が異なる。もっと交流できるのでは
ハード面は充実しているが、人との交流はまだまだ生かされていない。
地域ごとの横のつながりが弱く、三社祭を知らない人もいる。一次産業がないが産業を通じたまちづくりをどうやるのか
新町の人が三社祭を知らないなど、地域の分断が気になる
新町に住んでいると近所とのコミュニケーションがなく、元町のようにお祭りがあるといい
新町と元町の分断を融合したい、三社祭も入りづらい
三社祭をみたことがなく、地域環境が違くと共通の施策は難しいのでは。
回覧板がなく、地域の協力・集まりがあってもいいと思う
埋立地側とのコミュニケーションが少ない。元町側との相互交流があればいい
海の産物を元にしたワークショップなどもいい。コミュニケーションの活性化につながる
飲食店が定着せず、コミュニケーションの場が少ない
高層マンションで隣上下に誰が住んでいるかわからず、コミュニケーションが取りづらい
行政サービス・支援（12）
ボランティア活動に対する支援が少ない
保育資産の給与上乗せを充実させて、子育て世代が転入しやすいように
新卒後数年の期間限定で家賃補助もあれば、若い人も転入しやすいと思う
傷害保険から介護保険以降に伴い、車いすがレンタルになり支援が弱まる
待機児童は今年改善できているが、希望のところに入りづらい
今後の高齢化社会に向けた支援を
行政手続きの時間がかかり、テクノロジー強化を
教育の充実、若い人が長く住もうと思える
介護の視点だけでなく、シニアや一人暮らしの人が活躍する場があれば
介護支援が沢山ある。調べたら出てくるが、知れる機会があるとよい
介護、子育て、シニア活動に興味がある
行政をチェックしたり、修正できるシステムがあるといい
情報発信（11）
元町のお店など街の魅力が知られていない、情報発信
街を周遊できる仕組み、情報発信
鉄鋼通りなど市の知らない部分が多い
そのスポットではこういったアクティビティができるという情報があるといい
自分の住んでいる地区は知っているが、他地区のことが分からない
公園など市の魅力的な場所が市民で共有できれば
景色が共有できる施設があればいい。旧浦安を知らない、駅で紹介できる施設
浦安のいいところを外部の人が知らない。よいところを知ってほしい。嬉しいし、街をもっと良くしていきたいくなる。
街角の掲示板が活用されておらず、誰もが自分事として関心を持てればよい。いろんな世代がいるので、発信方法を考えた方がいい。

転入届の時に地域の情報が分かる仕組みがあればいい。地域活動は活発なので、新しい人が単発でも参加できるように。
医療機関情報などネットが見られない高齢者への情報開示はどうしたらいいか
商業施設（9）
昔は魚市場があってよかった
古い街と新しい街の違い。新しい街は飲み屋が少ない
付近は買い物や散歩を楽しめる店舗が少なくホテルが多い。住民視点の店舗誘致を望みたい
個人の飲食店が多くて楽しかった。最近、美浜に引っ越してチェーン店が多くてつまらない。コロナで街の元気が失われる
魚市場がなくなったのが残念
昔は魚の流通があり、すし屋が多かった。流通・食の活性化が戻るといい
古い家の雰囲気が好きなのに、新しい家ばかり増えて少し残念。小さなお店も増えてほしい。
出前を取れる場所がない。20年前は燕が来ていたが、最近は環境のせいか来なくなってしまった
浦安駅にお店や銀行が少ない
公共施設（7）
東野に大きい児童館があるが、美浜にはなく、保育の一時預かりも電話が繋がらない
ゆっくりできる場所が少ない、三番瀬の学習施設のつくりが市民の声を反映してない、コンサートホールの賃料が高い、市政決定プロセスの情報発信、マンションのゴミ出しなどマンション向け施策の充実、外から若い人を呼び込む、魅力の発信
新町の子供が減っていて、子供数や教育の行く末が不安。元町に公園が少ない
公衆トイレ、特に洋式が少なく、孫を連れて遊びに行きづらい
図書館を中心に市民の交流プログラムが増えるといい
地区によっては公園が少ない
音楽ホールが値段が高く気になる
安全・安心（7）
液状化が不安で、マイホーム購入時に迷ってしまう
舞浜の駅前がぐしゃぐしゃで周りの土地も沈むなど液状化が気になる。路地が多く防災上危険だと感じた。
台風など自然災害が気になる
震災対策、インフラ維持
震災前後で対応が進んでいるのか、情報公開が必要
液状化対策、震災の影響がまだ残っている
防災について関心がある
その他（19）
大規模団地の建て替え、老朽化対策
将来高齢化が進む
芸術やグローバルな体験がない。普段暮らしで視点が固まり、身近なことだけでなく思考を柔らかくし、子供にもそういう体験をしてほしい。

財政の豊かさがずっと続くのか
TDR 以外の事業者がなく、財政上の懸念
若い人が東京などに行ってしまう。働く場所が少ない
自分の街だけでなく浦安全体が良くなれないといけないと思っている
自動運転化、未来的な都市の先駆けになれば
高齢化が進んでいる。
新しい街は人の流れが少ないように感じる
TDR のイメージが強すぎる
幼稚園・保育園に地域間の差がある
母子手帳がディズニーでない
不動産価格が高く、家を買うとしてもハードルが高く、希望しても住み続けられない場合もある
中町から元町・浦安エリアにはほとんどいかない
歳を取ったときにどれくらい住みやすいのか？江戸川区が子育て・高齢者支援が整っていて、浦安はどうか？
地区ごとの年齢構成のバランスが崩れてきている
高齢化によるゴーストタウン化を懸念。多世代で住める環境で常に活気のある街に。
浦安に愛着が湧いていない？国道 357 号を境に愛着に温度差がありそう

③対話 3 「それぞれの幸せ、どんなまちが幸せ？」

交流・コミュニケーション (28)
若い人と高齢者、世代間のコミュニケーションが取れるようになっている
みんなが助け合うようなまち
新町・中町・元町のそれぞれの街の交流
新町・中町・元町のそれぞれ間の協力と融合
新と旧、高齢者と若者、歩行者と自転車など、二軸がお互い幸せになるような支援や施設
周囲との距離感を、温かみある距離に。教育や就業の場がもっとあればいい。
自分は賃貸で一時的に住んでいるが、偶然今住んでいる人にも、開かれる浦安になってほしい
支えあい、コミュニケーションがとれる街
コミュニティやイベントが楽しかった思い出があり、そういったものがたくさんほしい。ちょっと立ち寄れる場があればいい
コミュニケーションが一番大事。設備も大事だが、近所の人ともコミュニケーションが取れる方がいい
川や海で自然と触れ合える環境で、ゆったりとコミュニケーションできる街であってほしい
浦安の中でのコミュニケーションや触れ合いがある街だとよい
浦安に住んで良かったなと思えることが幸せ。一時的でもずっと住んでいてもコミュニケーションがオープンな街であってほしい
いろんな意見を言い合うことが幸せな浦安
色々な方とコミュニケーションが取れて支えあえる街

街の中で簡単な手助けでも誰かの役に立てるとき
病気になったときに家族がいると幸せ。困ったときに繋がれるコミュニケーションが取れているようになっていくといい
人は一人ではないとすべての人が感じられ、感謝や優しい気持ちを持てる
何世代もいて、生きていることを実感、多世代で交流
悩みを共に助け合い、解決できる街
東西線は便利だが京葉線は東京に行きづらい、南北と交流できるといい
地域の人とつながることが探してもできていないので、機会があればそれが社会生活になる
総合体育館のピラティス教室での交流が充実して幸せ、他の文化系にも。
引退後の交流が充実してほしい、学校や学べる環境の充実を
安心して生活できる、近所とのコミュニケーション充実
相手に思いやりを持てるようにしたい
世界に認知される街、国際交流が盛んな街になるといい
ハプニングが少ないことが一番。対話、挨拶がしあえる環境
安全・安心（15）
お年寄りが安全に暮らせる、子供たちが安心して暮らせる街
防犯防災＝安心 まさしくそんな街
防災を充実させたい
バリアフリーとか道路の拡張とか
震災があっても安心して暮らせる街、インフラが使える
絆が生まれ、安心して暮らせる街
安心して日々の生活が過ごせる街であってほしい
安心・安全な街。災害に強い街
定年後も安心できる街
コロナが速く収束してみんな健康に過ごせるといい。地震で液状化が起こらないといいと思う
これから先、大火なく安全に暮らせる。周りともコミュニケーションよく暮らしたい
液状化の心配なく、安心して生活できる
安全面と環境面が良い場所で暮らすことが幸せ。散歩道を歩いてビールを飲むのが幸せ。
安心して安全に住める街
安心・安全なまちづくり。地震での液状化にならないように、高齢者が安心・安全で暮らし、自分の家で終末を迎えたい
住環境（10）
住んでいるところを大事にしたい。子供、孫の代になっても住みたい街にしたい
新旧の差が大きく、元町辺りがもっと元気になってくれれば
将来安心して住める街にしたい
子どもの声が聞こえなくて寂しいという意見があり、活気ある持続可能性のある街づくりや若い人・子供に住みやすい街づくりがいい
居住食。労働確保、さらにエンターテイメントがあるといい

赤ん坊から一生住み続けられる街
マナーが守れるようにしたい、支援が充実しているところに住みたい
浦安市に住んでいて幸せ。自分が弱い立場になったとき、温かく手を差し伸べてくれる浦安市
ここまで浦安が住みやすい街になったと思っている。こういう考える機会があることが幸せ
景観がきれいになって住みやすい、人が入ってきやすい
海で遊べる整備をしてほしい
医療・健康・福祉（9）
障害者・子育て支援で市民が安心して暮らせる街
高齢者サービスが行き届く、身近なボランティア活動やその支援
高齢者が安全・安心に運動できるような環境
高齢者が安心して住める施設を
ゆっくり散歩できる、緑豊か、孫と遊べる、高齢者に手厚い行政サービス
親の介護の後に一人になっても、一人で不安のないよう助け合えるといいなと思う
健康でいること、医療施設が整っていて安いこと、長く居続けるには仲間がたくさんいる
健康づくり
図書館、病院が充実していて幸せ
子ども・教育（4）
家族が仲良く、自然を感じつつ、子供がのびのび育ち、地域みんなが協力してくれたら。
少人数教育、学びやすい環境
公立学校のさらなる教育環境の充実が必要で、騒ぐ子がいて授業が成り立たないと私立通学の子との格差が開いてしまう
子どもが健やかに育ち、健康でいたい
その他（24）
全国の災害で苦しんでいる人のためのスーパーボランティアに感動した。人を助ける使命・ボランティアの達成感の夢
情報共有できていない
浦安の中で生活を完結できれば良い。将来的に結婚して生活していきたい
浦安の中で産業がまわる仕組み、魅力ある街
飽きが来ない街や、刺激的な街だと幸せに暮らせる
目安箱ではないが、声が届くような仕組みがあるとよい
昔からの浦安を新しい人たちに知ってほしい、未来のある浦安市
未来があり、今世につながることができる歴史を知ったうえで自慢できるようにしたい、自分も周りも過ごしやすい、愛着を持つ街
税収確保が大事
自分は転勤が多かったので、子供たちは浦安市を故郷と思ってほしい
子どもたちが将来浦安を出てもまた戻ってきたいと思える街に住みたい。
心地よさや快適さが満たされること。浦安の自然環境や伝統的な資源が生かされた浦安市であるといい

昔と比べると移動手段も増え、自分で行動できるようになったことが幸せを感じる。環境も大事
人それぞれが自分らしさを発見・実現できる街であってほしい
自己実現、なりたい姿になれることが幸せ。市が応援してくれる環境を作ってくれる
引退後の自分時間を自分と家族に使える
以前創業セミナーに参加したが、80歳まで働けることをやっていきたい。残りの人生を楽しみたい。
不動産価格が高いので
何気なく出かける際に馴染みの店に寄れるような
友達と遊んでいるとき
自然を感じられること。視界が開けて空が見える。
公園でちょっとしたボール遊びやスポーツができる環境があるといい
大きな木があり広い公園のベンチで寝られるなど落ち着ける場所が欲しい
海で遊べる整備をしてほしい

(3) 第3回浦安まちづくり市民会議

1) 開催日時・参加者数

令和3年3月20日(土)

午前：10時～12時 参加者：34名

午後：14時～16時 参加者：32名

2) テーマ

「市民一人ひとりの幸せのために、浦安市の未来を思い描く」

3) プログラム

時間 上段：午前 下段：午後	内容
10:00-10:15 14:00-14:15	■会議の目的説明、浦安市の概要説明
10:15-10:30 14:15-14:30	■対話のルールについて ■自己紹介&前回参加して気づいたこと【※】
10:30-10:55 14:30-14:55	【対話1】【※】 ■「今の生活になくなったら困るものは？」
	(休憩(5分))
11:00-11:25 15:00-15:25	【対話2】【※】 ■「5～20年後、どんなまちになってほしい？」
11:25-11:40 15:25-15:40	■全体発表
11:40-11:50 15:40-15:50	【対話3】【※】 ■「最も大切にしたいこと、どんな浦安市の未来を望む？」
11:50-12:00 15:50-16:00	■写真撮影 ■事務連絡

【※】ブレイクアウトルームに数名のグループに分かれ、グループディスカッションを実施

4) 開催結果

対話1～3について、参加者の皆さまからいただいた主な意見を項目ごとに整理して、記載しています。

①対話1「今の生活になくなら困るものは？」

項目	主な意見など
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 市内を移動するバスと市外へ移動する鉄道などの交通網 ➤ 357号や葛西橋など、市から出るための道路 ➤ 通勤の便利さ
医療・健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 生命の安心・安全、医療体制 ➤ 高齢者施設と担い手 ➤ 高齢者の学びの場
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 運動公園、野球場などのスポーツ施設 ➤ 地域の交流の核となる公民館 ➤ 図書館サービス
交流・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 近所づきあいや自治会、祭りなど人とのコミュニケーションの場 ➤ 散歩中など市民同士の気軽なコミュニケーション ➤ 元町のコミュニティ、暮らしぶり、近所の親しい付き合い
子ども・教育	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 子どもを預かってくれる場所 ➤ 子育て支援施設（育児中のコミュニティ）
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 近所の慣れ親しんだお店 ➤ スーパー、撤退されると困る
街並み・景観	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 快適に整備された街並み ➤ 歴史的な街並み
水辺・環境	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自然（海、川、公園、緑道など緑が多い） ➤ きれいな空気、水

②対話2「5～20年後、どんなまちになってほしい？」

項目	主な意見など
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 歩いて動き回る人にやさしい、いろいろなものが楽しめる（雨宿り、車いすでも海辺にいけるなど） ➤ 京葉線・武蔵野線がすぐ止まらない交通の安定 ➤ 交通手段が充実
水辺・環境	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 海の景観を活かしたまちづくり ➤ 海の活用と観光育成（潮干狩り、海上交通、船の停留、買い物）
医療・健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ➤ WEB診断など自宅での医療 ➤ 高齢になっても働けるようなチャンスのあるまち
交流・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 多世代の交流が活発なまち ➤ 多様性、老若男女・国籍などに関係ないコミュニティのあるまち
子ども・教育	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 教育を充実して若い世代や移住、強みを伸ばせる ➤ 子供を安心して育てられる
産業	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 市内に働く場所を作り若い人を呼び込む ➤ 空き家を利用して在宅勤務のスペースがあるようなまち
街並み・景観	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 開発されても市民が静かに過ごせる場所は残してほしい ➤ 漁師町等の文化・情緒と、快適で整備された街並み（電柱地中化等）の両面を共存へ
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 災害に強いまち、震災はなくなる ➤ 液状化対策がしっかりしている安全なまち

③対話3「最も大切にしたいこと、どんな浦安市の未来を望む？」

大切にしたいこと	そのためにどんなまちになってほしいか
安全・安心	
楽しく幸せにを基本に、 安心・安全な暮らし	災害に強いまち、有事の際にサポートを受けられる
安心安全な街、暮らしの 利便性が向上する所に 住みたい	誰もが安全安心で、活力を生み出す未来になってほしい
交流・コミュニケーション	
コミュニティ	年代・性・国籍など問わず、普通に気軽にコミュニケーションが取れる
のびのびと老後も子供 や孫とくらししていきたい	海を活かして、高齢者も若者も、子供たちもコミュニケーションが取れる明るく楽しいまち
住環境	
子供から高齢者まで住 みやすい街	衣食住全てが便利なまち、コミュニケーションが取れる、近所付き合いができるまち
自分らしく生きること	子どもも高齢者もみんながお互いに世話をして生まれてから最期まで暮らせるまち
医療・健康・福祉	
家族が健康で安心して 暮らせる	住みやすいまち、子供・大人・高齢者、小学校の充実
一人一人の生活や健康	ライフステージに関わらず、福祉などのサービスが行き届いているまち
子ども・教育	
人材育成	子育て支援、学校以外の学びの場の充実
小中高の教育の充実	市外からも通いたいと思える学校のあるまち

5) Google スライドへの書き込み

- ①対話 1 「今の生活になくなら困るものは？」
- ②対話 2 「5～20年後、どんなまちになってほしい？」

4グループ

対話 1 「今の生活になくなら困るものは？」

対話 2 「5～20年後、どんなまちになってほしい？」

安全 自然 景観 犯罪発生率低い 緑多い 街の景観	京葉線 通勤に使 っている 東西線 は混雑が深刻 2 つの路線	図書館と体育館 頭と体の両方のた め	自己実現できる 高齢者と若年層が 支えあえる	セカンドライフを 楽しめる ひとり ひとりの役割をつ くれる仕組み	例) 病院まで遠く ても自動運転で通 院できる
大きな病院	バスの利用券が助 かります	高齢者	働く	コミュニ ニティ	交通
シルバー働ける機 会 最低賃金千葉 県低い	介護施設 市に足 りていない 増や してほしい	学ぶ	子育て	住まい	福祉
イクスピアリ映画 館	保育園 共働きし ているので コロ ナでありがため感 じた	自然	医療	健康	文化
お散歩バス 駐輪 場 快速停車駅		歴史	安全	景観	その他
		年金 医療機関		京葉線と東西線の ほかにもうひとつ 移動手段 →都バスが川で寸 断	高齢者住みや すい ドローン配達 のような先進 的な取り組み
					健康 ①体②心③ 社会との接点
					子育て支援の 仕組み
					健康維持をマ ネジメントで できる仕組み
					浦安市の健康面取 り組み→がん対策 充実
					結婚後も住みたい 街 家賃高すぎない 住宅確保しやすい

6グループ

対話 1 「今の生活になくなら困るものは？」

対話 2 「5～20年後、どんなまちになってほしい？」

インフラは重要 スーパーマーケット 閉店時は大変だった	医療がなくなると不安	景観 工夫すればもっと 良くなる	道路を重視せず、 公園などが整備さ れている	埋立地の拡大 人口増加につな がる サイクルがつ ながる	大規模住宅がこれ 以上増えず景観が みとおせるまち
図書館 現在分館がやってい ない	図書館 システムが優れて いる 蔵書もよい	交通 インフラ 震災の時を考えると 重要	災害に強いまち 震災はなくなる	自転車が多く 少し怖い ルール化を含 め歩ける環 境を整備	若い人が入り、流動 が増加、施設も充実
景観は同意 浜に出られない	イクスピアリ、 新浦安駅前など 大型商業施設	高齢者	働く	コミュニ ニティ	交通
市域がせまいのは魅 力 合併しないで欲しい	交通安全 鉄鋼団地など大型車 両が多い地区への交 通安全	学ぶ	子育て	住まい	福祉
リゾートゾーンから つながるような道	子育て環境 劣化すると若い人 が育てるのが大変	自然	医療	健康	文化
堤防から海にでられ るところがあると 良い	インフラはやっぱ り重要	歴史	安全	景観	その他
千葉みなどは船が出 る浦安にもあると 良い	京葉線などがとま るとどこにも出 られなくなる	団地の建て替え・ リニューアルで住 み続けられるよう に		自分のまちが自慢 できるまち 景観・インフラ整 備 認知度が高いまち	島をつくる
					少子化が進む なかで保育園、 病院などが充 実したまちの イメージによ り人を呼び込 む
					子どもからお年寄 りまで安心して住 み続けられるまち
					車を使わずに移動 できるまち 身近な移動と遠く にいけるインフラ 双方整備

③対話3「最も大切にしたいこと、どんな浦安市の未来を望む？」

2グループ 対話3「最も大切にしたいこと、どんな浦安市の未来を望む？」

今まで話してみて もっとも大切にしたいこと	そのために「改めて」 浦安市がどんな未来になってほしい？
家族、自分自身が自立していければいいな	安心して住めるために、福祉、医療、災害対策を充実させる
よくわからない	一人一人がどうなりたいかわかってもらえる スマートな浦安市
安心して日常を送る	こうしてほしい、という希望をいわなくとも 満足に達している街
家族、周囲の家族大事	家族、周囲の家族大事にすると全体がよくなる、 住みやすい

5グループ 対話3「最も大切にしたいこと、どんな浦安市の未来を望む？」

今まで話してみて もっとも大切にしたいこと	そのために「改めて」 浦安市がどんな未来になってほしい？
自分らしく生きること	子供も高齢者も、みんながお互いに世話をして 生まれてから最期まで暮らせる街
水辺をキーにした憩いやコミュニティ	水辺をキーにした憩いやコミュニティ（中の人）、 海上交通（外の人）。防災も考えられた 安心・安全まちづくり。
のびのびと老後も子供や孫と暮らしていきたい	海を活かして、高齢者も若者も、子どもたちも コミュニケーションが取れる明るく楽しいまち
精神的に豊かに生活したい	景観・暮らしやすい環境を整え続け、リラックスして 暮らせるまち+地域に貢献できる・つながれるまち
	多世代が住み続けられるまち
子供も小さいので、安心・安全を大事にしたい	交通の便も含めて整ったまち（浦安駅の夜は ちょっと騒然している・・・）

6) いただいた意見

Google スライドに書き込まれた意見を、項目ごとに整理して、記載しています。

①対話 1 「今の生活になくなら困るものは？」

道路・交通 (32)
安心・安全な社会インフラ (交通など)
浦安駅と新浦安駅をレンタサイクル等でつながるように
おさんぽバス、駐輪場、快速停車駅
おさんぽバスが 100 円であること
街路灯。多くて夜も歩きやすい
京葉線などが止まるとどこにも出られなくなる
交通 (大雨時の冠水などに強い)、特に車以外
交通 (バス: 浦安⇒新浦安)
交通、357 号、葛西橋などの道路
交通、今の路線がなくなったら困る
交通、上り下りは鉄道、市内はバス一択。
交通。JR が止まると不便、無理。
交通・インフラ、震災を考えると重要
交通安全、鉄鋼団地など大型車両が多い地区で
交通がいいのはディズニーのおかげ
交通機関
交通と景観が大きい、通勤が楽で都内のゴミゴミがなくてリラックス
交通と学び
車道と歩道の分離、安全
千葉みなたのように浦安も船が出る場所
通勤は京葉線、東西線は混雑が深刻
通勤でバスがなくなると困る
通勤の便利さ
東京から近い、お出かけするのも便利、楽しさ
道路環境、首都高 IC が 2 つある
バス、新町～元町が充実するとよい
バス。図書館、自習室。
バスの利用券が助かります
バス利用、公共交通の便
防災、災害に強いインフラ
モノレール案は高齢者はやや大変⇒トロリー、電動サイクルなど南北交通
労働環境とアクセスの良さ

医療・健康・福祉（29）
病院、美容院
病院にかかる人も多く、なくなったら困る
安全、医療
医療
医療、健康がこの年齢では一番
医療がなくなると不安
医療体制
医療の充実、基本的なことはしないで完結
医療も2か所あるので便利
大きな病院
お金と医療
介護施設が市に足りていない
健康
健康、検診がすべて無料
健康に関するイベント
高齢者支援サービス・送迎バスやセンターが綺麗でコミュニティもある
高齢者施設、タクシー券
高齢者対策、健康・医療を充実していただきたい
高齢者の交通安全の確保
高齢者の施設や担い手
高齢者の学びの場
高齢者へのサポート
自分の健康、やりたいことや行きたいところのため
自分の健康を維持できるもの
シルバーが働ける機会、最低賃金は千葉県低い
生命の安心・安全、医療体制
年金、医療機関
歯医者以外の診療所少ない
みんなにとって、医療が一番大事
公共施設（25）
海沿い総合公園のランニングコース
運動公園、野球場などのスポーツ施設
教育施設が使える、スポーツができる施設
公園
公園（新町は多い）
公園・自然

公園がある
公園がなくなると困る。道も狭く、自転車の練習をする場所がない
公民館の自習室など
市民プール、運動施設を各地域に
市役所のサービス、休日開庁、駅までの対応
税務署が市川にしかない
地域の交流の核となる公民館
中央図書館が好きで、なくなったら困る
中央図書館は書店にはない多くの本がある
図書館
図書館、現在は分館が休み
図書館が立派、次の世代に残すべき
図書館サービス（今は充実）
図書館と体育館 頭と体の両方のため
図書館のシステムが優れていて、蔵書もよい
図書館は高価な本もある
図書館は蔵書が多い
保健所がない
文化として音楽ホールなどの施設が身近にあってよい
交流・コミュニケーション（22）
お祭り、コミュニティを取れる場
学校内でお父さん同士の集まり・飲み会・催し物など緩い繋がり
コミュニケーションが取れる場所、高齢化社会への参加、多世代のふれあい
コミュニティ（賃貸では難しい、自治会加入率を上げたい）
コミュニティ、生きていくうえで重要、生活が成り立つ
コミュニティ、多くのイベント（孤立回避）
コミュニティ、自治会の活動が活発
コミュニティの範囲を広く、自然体なお付き合い
コミュニティもなくなったら困る⇒買い物での会話、近所の会話
コミュニティやつながりを強めるにはお祭りが必要
サークル、アカデミア、公民館活動が高齢者の生きがいにつながっている
三社祭、生き生きとしていて元町が潤う
三社祭、地域のお祭りが高齢化でなくなると寂しい
散歩中など市民同士のコミュニケーション
自治会に参加している人が少なくて困るが入るメリット無いかも
自治会の勧誘が大変で人数が増えず役員をやる人がいない
市民が地域や世代を超えて交流できるコミュニティの在り方

スポーツクラブを通じて友達づくり、親世代のコミュニティ形成にもつながる
地域の濃密なお付き合い、隣近所の付き合いがあった方が住みやすい
突き詰めれば健康と人間関係（コミュニティ）
マンション、老人ホーム等小さなコミュニティや市のつながりがない
元町のコミュニティ、暮らしぶり～近所の親しいお付き合い
子ども・教育（18）
安心安全な生活、子供・孫まで
学校の状況で部活がなくなっている？何を教えるのか
学童保育
家族の支え
教育相談にのってもらえるところ
子育て環境は劣化すると若い人が育てるのが大変
子育て支援
子育て支援施設（育児中のコミュニティ）
子育てセンターがあつてよかった
子育ての環境
子どもを預かってくれる場所、待機児童の解消
産婦人科少ない
待機児童ゼロは素晴らしい
共働きしているので保育園、コロナでありがたみを感じた
不妊治療のサービス
保育園
保育園、子供の面倒をみてもらうところ
学び、浦安をどうしていくか考えていく
商業施設（15）
イクスピアリ、映画館
イクスピアリ、新浦安駅前などの大型商業施設
インフラは重要、スーパーマーケット閉店時は大変
買い物施設、新浦安駅近くでバイトしているが買い物施設が充実している
観光、商業施設
近所の慣れ親しんだお店
新町地区は気軽に行ける定食屋さんがない
スーパー、一時期大型店が撤退して苦労
スーパー、お店の撤退が気になる
スーパー、撤退されると困る
スーパーなど生活に密着しているもの
ディズニーランド

ディズニーリゾート。自転車で行ける、成人式、文化
複合商業施設に入っているお店が少なくなると活気がなくなる
ヨーカドー、OKストアなど大きな店
街並み・景観（14）
駅前通りの景観がなくなると魅力減
快適に整備された街並み
開発が進んで街路樹が伐採されたり、自然が少なくなると嫌
景観（花火、観覧車、スカイツリー見える）⇒低層住宅維持
景観、工夫すればもっとよくなる
景観・環境がいい、道が広い、子供が安心、快適
景観に同意、ただ浜に出られない
景観や自然、マンションが増えディズニーの花火が見えなくなった
住環境全般、道路が広い
新町は電柱がなくきれい、元町でもできれば景観、防災上もよい
人が増えても快適な生活環境が続くといいな
古い町並み、歴史的な文化財がないと味気ない
リゾートゾーンからつながるような道
歴史的な街並み（北部の漁師町）
水辺・環境（8）
安全・自然・景観、犯罪発生率低い、緑多い
海がない
海辺に降りられない、親水施設の営業
きれいな空気、水
三番瀬の近くが気晴らしになる海が近い
自然（海、川、公園、緑道など緑が多い）
自然（海など）を活かす
堤防から海に出られるところがあるといい
その他（18）
逆に消防、警察は出動が少なく不要？
住環境が災害等で住めなくなると困る
家が快適
年金、金銭面の安定
文化、薪舞台を、夜景を見ながら楽しめた
ごみの収集、衛生関連
浦安ってバランスが取れている。空の青さ、澄んだ空気
浦安は全てが充実
幸せは安全、防犯しっかり
市域がせまいのは魅力、合併しないでほしい

住まい
通信環境
鉄鋼団地、物流拠点
日中いないと、市の制度などをあまり使えていない
働くとも意識の切り替えができる
働く場所が少なくなったら困る
働く場所がない、みんな東京に出してしまう
歴史・伝統

②対話2 「5～20年後、どんなまちになってほしい？」

道路・交通 (33)
JR、地下鉄の間に一本路線が入るといい
歩いて動き回る人にやさしい、いろんなものが楽しめる（雨宿り、車いすでも海辺にいけるなど）
浦安駅周辺の利便性向上
浦安駅と新浦安駅まで行くバスなど好通の利便性
浦安駅前、新浦安駅前のバスターミナルを舞浜同様に
大型車両と一般車両との完全分離
おさんぽバスのようなものが続いてほしい
風や天候、災害などにも強い交通機関へ
車を使わずに身近な移動と遠くに行けるインフラの双方整備
京葉線・武蔵野線がすぐ止まらない交通が安定したまち
京葉線がしっかり動けば
京葉線と東西線のほかにもうひとつ移動手段、都バスが川で寸断
公共交通が発達し、車無しでもスーパーが近くになくても買える
交通手段が充実
交通の利便性向上（中町⇒舞浜への移動を便利に）車の移動、買い物などバス便増加
交通面、電車や道路が整備されて、出かけやすくなっている
交通を改善して、街ごとのコミュニティ活発化
自転車が多くこわいので、ルール化を含め歩ける環境を整備
自動運転、道が広いという利点を生かしたバリアフリー
自動運転が街中を自由に走っている
市内移動、おさんぽバスのルートを増やしてほしい
新浦安駅と営団地下鉄、バスだけでなく便利につながるといい
総合公園の駐車場が入れないのを改善
第二湾岸道路ができる、環境を崩さず便利に南に行ける湾岸
東西線と京葉線の乗り換えができるようになること
東西線の浦安駅がもっとゆったりしてほしい
道路が安全なまち

人の行き来が活発になっているとよい（交通インフラ）
ヨーカドー付近の東京都の橋を架ける計画が実施されてほしい
海上交通はアドバンテージになる⇒住・自然環境を守りながら
港ができれば人の動きの流れができる
陸の孤島⇒逆に海上交通を活かしていく街
狭い道、段差などバリアフリーに向けた整備が進む
水辺・環境（25）
街・海の景観・環境が好き。海を活かしてビーチで遊べるような
海が近いので、船やボートを活用して楽しめる施設がある
海との間に物理的な障害がなく、砂浜などできればよい
海の活用と観光産業育成（潮干狩り、海上交通、外来艇の溪流、買い物）
海の景観をいかしたまちづくり、海に触れあえる施設や海上バスなど
海の景観を活かす
海辺に出て、海に触れられる場所、施設
海を活かす、遊べることで魅力向上
お祭りで川下り
海洋資源を活用できているように
河口から遊覧船が出て景観を楽しめる
川と一体化した歩けるところ
綺麗な川を眺めながら過ごせるまち
境川が綺麗になっているといい
医療・健康・福祉（21）
WEB診断など自宅での医療
あと1つか2つ総合病院ができたらい
医療・福祉の充実、先手を打った高齢化への対応
医療がもっと便利に受けられるように
浦安市の健康面取り組み⇒がん対策充実
疫病対策が自力でできるまち、
かかりつけ医、気軽に行ければ老後も安心
健康 ①体②心③社会との接点
健康維持をマネジメントできる仕組み
健康と医療
高齢化への対応（新町トランポランド）
高齢者が住みやすい、ドローン配達のような先進的な取り組み
高齢者が誰でもすぐに施設に入れるように手続き簡略化
高齢者施設に入れられない心配がなくなるといい（金額面、設備面）
高齢者施設の充実（利用できる種類など）

高齢者の交通事故を防ぐ、高齢者免許返納を全国トップで進める、返納者のサポート（買い物、奨励金など）
高齢になっても働けるようなチャンスのあるまち
子どもからお年寄りまで安心して住み続けられるまち
バリアフリー、高齢でも歩きやすい工夫
保健所などの医療体制が独立している
民生委員と協力して高齢者の孤独死を防ぐ、高齢者を見守れる社会
交流・コミュニケーション（17）
お祭りなど気軽に参加できる老若男女が交流できるコミュニティがある
外国とのコミュニケーション、多様性
コミュニティ、元町のような隣近所で生き生き暮らせる
三社祭に二世帯で参加、これからも世代を受け継いで続いてほしい
自己実現できる、高齢者と若年層が支えあえる
市民と市役所のコミュニケーションが円滑
趣味やスポーツ、お祭りがもっと増えればよいな
職場に近い、効率的に人とのつながり、心にゆとりがあるような環境になってほしい
新町・中町・元町の移動がスムーズだと交流できる
新町に新しいお祭りができている
多世代交流が活性化されているまち
多世代交流活発化
多様性、老若男女・国籍など関係ないコミュニティのあるまち
多様な街並みの良さを生かした都市の在り方。元町・中町・新町のくくりもなくしては？
地域のコミュニティがもっと形成されているまち（福祉・高齢者・医療も）
図書館を活用した外国人・世代間交流
ビジネスを起点にしたコミュニティづくり
子ども・教育（16）
5年後だと、子供の教育にいい環境、公園、自然
希望する保育園施設に（待機児童ゼロでも地域差がある？）
教育環境向上という意味で、市で数学などの解説動画等をあげてほしい
教育に特徴を
教育を充実して若い世代や移住、強みを伸ばせる
公立学校も含めて質の高い教育
子育て・医療・教育の施設が充実している
子育て支援の仕組み
子どもが増加するような施策
子供を安心して育てる
市内の教育環境、近いと安心
少子化が進むので保育園・病院などが充実したイメージで人を呼び込む

共働き家庭が子育てできる
学び：中学校で英語ペラペラ
よい文化が継承されていればいい
若い世代に住んでもらえるように子育て支援充実
産業（14）
大型商業施設の維持ができているとよい
介護で地元に戻ってもテレワークで仕事ができる
起業特区など、市内に働く場所を作り若い人を呼び込む
産業を育成していく
スマートシティ化、簡略化、WEB決済、移動しやすい街
大規模商業施設を作ることで、浦安市内で働けるように
脱ベッドタウン化、市内で雇用創造
ディズニー以外の集客施設
テクノロジーを使って便利に
ワークシェアリング（一人一人のスキルや時間を有効活用）
MADE IN 浦安のおみやげなどが増えてほしい
空き家を利用して在宅勤務のスペースがあるようなまち
普段使いの飲食店（新町）
元町あたり、こじんまりとしたお店、住んでいる人が自分で創業するような経済の活性化
街並み・景観（10）
団地の建て替え・リニューアルで住み続けられるように
漁師町等の文化・情緒と、快適で整備された街並み（電柱地中化等）の両面を共存へ
TDRの街だと街並みの中で感じられるように
お散歩が安心してできるまち
開発されても市民が静かに過ごせる場所は残してほしい
企業誘致による新浦安駅周辺の開発
クローバーのごみが綺麗になっていたらいいな
景観・インフラ整備、認知度が高い街
大規模住宅がこれ以上増えず景観が見通せる街
町中歩いてみて、うまく整備されている
安全・安心（6）
災害に強い街、震災はなくなる
地震・災害対策ができ、PRができるまち
将来の災害に備えてホテルを提供していけるように
液状化対策がしっかりしている安全なまち
シニアが安心して散歩
地震のネガティブイメージを払拭

その他 (32)
あまり移動しなくてもいろいろ近くにあり便利 (お店や施設)
公園や運動場、学生の頃あまり運動できなかったのも
道路を重視せず、公園などが整備されている
埋立地の拡大、人口増加へ、島を作る
IT 環境整備、オンラインで組合理事会
TDR で成人式を継続!
結婚後も住みたい街 家賃が高すぎず住宅確保しやすい
各図書館の本がデジタル化、キーワードで検索可能
市役所の業務もオンライン化
税金が安くなるとよい、法人税を増やす (鉄鋼以外の産業)
ネットワークのインフラを充実
無料 Wi-Fi スポットが多い
空き家対策、建て替え、人が入ってくる機会でもある
新しい人を呼び込む
いろんな世代が住みたいと思える街、便利+文化、元町の神社は世界に発信できる
学校の空き教室などで公民館活動ができる
市町村魅力度ランキング 10 位を目指す (20 年は 40 位)
自分のまちが自慢できるまち
市役所の窓口業務を無線でつなぎ、来朝者の負担をなくす
住民票の発行などをオンラインで行えるなど
ずっと長く住む
スラム化がない
住んでいる人にとって誇れるまち
セカンドライフを楽しめる ひとりひとりの役割をつくれる仕組み
先進的な街づくり、スマートシティ
常に魅力的な街をつくる
ディズニーとコラボしたまち。母子手帳をディズニーにしてほしい
ドラマのロケ地 (おしゃれ、景観)
働き方など価値観が変わる⇒住む場所も自由⇒独自の付加価値を
必要な情報が届く
人がうまく循環していく、若い世代が入ってきて理想的な人口ピラミッド形成
若い人が入り、流動が増加、施設も充実

③対話3 「最も大切にしたいこと、どんな浦安市の未来を望む？」

大切にしたいこと	そのためにどんなまちになってほしいか
安全・安心 (13)	
安心安全な街、暮らしの利便性が向上する所に住みたい	誰もが安全安心で、活力を生み出す未来になってほしい
自由に、安全・安心	個と地域の共存、愛着をもって暮らせる
あらゆる年代で自己実現できる	安心・安全なまち、各年代に必要な施設が充実、全国のトップでオンライン化
家族、自分自身の自立	安心して住めるために、福祉、医療、災害対策を充実させる
災害、降雨冷夏など変化を先取りして対応	自動運転など先進的な取り組みがされているまち
安心して日常を送る	こうしてほしいという希望を言わなくても満足に達しているまち
安心・安全、生活の質	市民間で解決できるまち
安全に住める	自分らしく生活できる、ディズニー以外の強み、利便性と教育の充実を
安心・安全が心のよりどころになること	安心・安全を踏まえた夢と魔法のまち！充実した環境
安全であたたかい環境で生活ができること	まち間の差がなくなり、平等になればいい（生活環境、道路など）
子どもも小さいので安心・安全を大事にしたい	交通の便も含めて整ったまち
楽しく幸せを基本に、安心・安全な暮らし	災害に強いまち、有事の際にサポートを受けられる
住み続けられる環境	災害に強い、オンライン化、全国から憧れられるような先進性と自然
交流・コミュニケーション (10)	
活気ある街になってほしい	人（コミュニティ）、環境（交通面）、仕事（産業の発展をバックアップ）
住みやすくするためにまちづくりのためにできることはしたい（ゴミ拾いなど）	市民が参加できる仕組みを将来的に継続してほしい
人々の人生を大切にす町	幅広い世代の交流と、ディズニーだけではない魅力あるまち
のびのびと老後も子供や孫とくらししていきたい	海を活かして、高齢者も若者も、子供たちもコミュニケーションが取れる明るく楽しいまち
各世代間のコミュニケーションが自然にできる	自動運転の交通網整備、コミュニティのありかが分かる仕組み

人と人のつながり	各地域の公民館を大きくして、地域のコミュニティの関係を強くしてほしい
交流、コミュニケーションがあふれるところに住みたい	浦安市内ですべてのことが満たせるまち（買い物、就業など）
水辺をキーにしたい憩いやコミュニティ	水辺をキーにした憩いやコミュニティ、海上交通、防災も考えられた安全安心なまちづくり
多様性が生かせる	多国籍の方ともコミュニケーションが取れるようになりお互い学べる、LGBT やパートナーシップなど多様な人が暮らしやすい
コミュニティ	年代・性・国籍など問わず、普通に気軽にかかわれるまち
住環境（９）	
今の住環境と暮らし	幅広い世代が不自由なく、新旧のまち・仕事とリゾートが共存し、都会と田舎のバランスの良く継続していけるまち
子供から高齢者まで住みやすい街	衣食住全てが便利なまち、コミュニケーションが取れる、近所付き合いができるまち
-	多世代が住み続けられるまち
住みやすい、働きやすいこと	充実した時間を過ごせるまち、自然、スポーツ、図書館などの充実
働き手が住みやすいところになってほしい	働きやすく、子育てしやすいまちになってほしい。少子化の中で、労働人口が維持されるような魅力的なまち
-	住んでいる人はずっと住み続け、住みたい人は住みたいといえるまち。海など自然もアピールできるまち
自分らしく生きること	子どもも高齢者もみんながお互いに世話をして生まれてから最期まで暮らせるまち
若い人～高齢者が生き生きとして、住んでいて良かったと思えるまち	浦安に住んで、仕事ができ、生計がたてられるようなまち
-	今は住みやすいが将来は空き家も増えるので、情報発信をして住んでもらえるまちであり続けること
医療・健康・福祉（８）	
活気のあるまち	高齢者へのサービス、若者に魅力あるまち
ひとりひとりのスキルを活かせる仕組み、健康を支える街のづくり	-
長く住める街	高齢者向けサービスの充実、運転免許返納後のタクシー移動サービス、バス運賃サービスなど
自分が健康で安心して暮らせる環境の維持	将来的に誰かのサポートが必要、サポート付きの施設・高齢者向けセンターの充実
家族が健康で安心して暮らせる	住みやすいまち、子供・大人・高齢者、小学校の充実
一人一人の生活や健康	ライフステージに関わらず、福祉などのサービスが行き届いているまち
健康・福祉	商売への補助金、健康支援など困った人へのサポート

健康いちばん	税収・産業を増やし、人を増やす。企業収支などの仕組みができています
子ども・教育（6）	
面白いまち	教育の充実、企業とのコラボ、病院の充実
人材育成	子育て支援、学校以外の学びの場の充実
子供の将来の選択肢が増えるような環境になってほしい	いろいろな選択肢の中から子供が自分で選んで学んでいけるような環境ができてほしい
子どもが健やかに育つ	子どもを作りやすい環境、車など安全
子育てがしやすいこと	子育て支援の充実、コミュニティの充実、市内の開発が進み、より住みやすい環境になってほしい
小中高の教育の充実	市外からも通いたいと思える学校のあるまち
その他（20）	
浦安の図書館	浦安の図書館がいい、新しい進んだ仕組みがあった
景観とインフラ整備	公園やまち路樹などを残しつつ、充実したインフラを整備。震災対応なども重視
快適に歩いて動き回って楽しめるまち	南北の交通や、休憩スポット、海辺を高齢者や車いすでも
自然と近い	浦安は道路も整備され、空も開けているので、開発と両立できればいい
楽しく幸せに生きる	今困っていることを市で吸い上げて、将来困ったときにサポートを受けられるまち
やりたいことをあきらめない	いろいろな制約があっても、やりたいことが実現できるようなまち
精神的に豊かに生活したい	景観・暮らしやすい環境を整え続け、リラックスして暮らせるまち＋地域に貢献できる、つながれるまち
自分と周囲の家族	家族、周囲の家族を大事にすると全体がよくなり住みやすい
市民の市への貢献	ボランティア活動ができる場がたくさんある
今のリゾートから人間らしくいられる、自然もあり都会に出やすい	空が広い、星を楽しむ、より魅力的なまち
よくわからない	一人一人がどうなりたいかわかってもらえるスマートな浦安市
自分や、子どもが大人になったときに自立して住みやすい	人の循環ができています、世代関係なく住みやすい、WSに参加していない方にも伝わるように
都市アイデンティティ	ディズニー、図書館以外に浦安が誇れるものをつくる
誰もが長く住みたくなる魅力的な街、産業があり、生活しやすい場所になってほしい	産業の育成、生活環境改善
ふるさとと呼べる街に	自信をもって出身・ふるさとといえるまちになってほしい
ワイキキ	散歩して楽しいものがいっぱいある、いろんなところに顔

	を出したい、市外の方がもっとまち中でもリゾートの雰囲気味わえる
市民の笑顔と幸せのため	ディズニーリゾートはあってほしい。浦安市民とオリエンタルランドの連携、企業とのコラボレーション
血流を流す	生産性が落ちる、市の効率性、市民参加型の民主主義
住みたいと思う町	ディズニー以外の浦安ブランドがある魅力ある場所になるといい
-	浦安ブランド、浦安プライド、他のまちからうらやましがられるようなまち

(4) 第4回浦安まちづくり市民会議

1) 開催日時・参加者数

令和3年5月22日(土)

午前：10時～12時 参加者：32名

午後：14時～16時 参加者：23名

2) テーマ

「まちづくりにおける市民と市の役割等について」

3) プログラム

時 間 上段：午前 下段：午後	内 容
10:00-10:15 14:00-14:15	■会議の目的・概要説明
10:15-10:30 14:15-14:30	■対話のルールについて ■自己紹介&第2・3回に参加して感じたこと【※】
10:30-10:45 14:30-14:45	【対話1】【※】 ■「地域の課題に対して、自分だったらどのように関われそうですか？」 (課題：1. 防災、2. 環境・景観、3. 福祉・子育て)
	(休憩(5分))
10:50-11:25 14:50-15:25	【対話2】【※】 ■「地域の課題の解決に向けて、個人・コミュニティ・市はどのように関われそうですか？」
11:25-11:35 15:25-15:35	■全体発表
11:35-11:55 15:35-15:55	【対話3】【※】 ■「個人・コミュニティ・市の役割とは？」 「改めて感じたこと・気づいたことは？」
11:55-12:00 15:55-16:00	■写真撮影 ■事務連絡

【※】ブレイクアウトルームに数名のグループに分かれ、グループディスカッションを実施

4) 開催結果

対話1～3について、参加者の皆さまからいただいた主な意見を整理して、記載しています。

①対話1「地域の課題に対して、自分だったらどのように関われそうですか？」

※グループごとに地域の課題（1. 防災、2. 環境・景観、3. 福祉・子育て）を設定し、議論を行いました。

テーマ	主な意見など
1. 防災	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 普段、地域の活動に参加する ➤ 水、食料、日用品を備蓄しておく ➤ ハザードマップの確認 ➤ 正しい情報が入る環境をつくっておく ➤ 日頃から周りとの関係性をつくっておく ➤ 隣近所と声を掛け合う
2. 環境・景観	<ul style="list-style-type: none"> ➤ クリーン電力を使う ➤ 気が付いたゴミを拾う ➤ なるべくペットボトルを買わないようにする ➤ 他のエリアがどうなっているか情報収集 ➤ NPO 活動・団体などへの寄付
3. 福祉・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 同じマンション内での高齢者等との関わり ➤ 近隣への声掛け、あいさつ ➤ 市の子育てサービスを利用して、利用した意見も伝える ➤ 気持ちはあるが、きっかけが難しい

②対話2「地域の課題の解決に向けて、個人・コミュニティ・市はどのように関われそうですか？」

※個人に関する意見は対話1に集約しています。

テーマ	主な意見など
1. 防災 (コミュニティ)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 町内会での安否確認 ➤ 防災キャンプなど誰もが楽しめる活動 ➤ マンションで助けを求めるステッカーを作って配布した
1. 防災 (市)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 詳細な災害情報の発信 ➤ 災害時の行動に関する周知 ➤ 避難場所の整備・案内
2. 環境・景観 (コミュニティ)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ゴミ拾いなどのイベントの実施 ➤ みんなで花壇の管理をする ➤ ボランティアも複数のマンションが合同でできれば
2. 環境・景観 (市)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ゴミの分別やリサイクル方法などの情報発信 ➤ ボランティア活動に対して商店で使えるポイント還元 ➤ 清掃活動の広報

3. 福祉・子育て (コミュニティ)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 気軽に話せる場所を提供する ➤ コミュニティをフォーマルにせずインフォーマルに ➤ 積極的に情報発信を行う
3. 福祉・子育て (市)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学校などを地域に開けるような制度設計 ➤ 高齢者・障害者との接点となる場作り ➤ 提供しているサービスの積極的な情報提供

③対話3 「個人・コミュニティ・市の役割とは？」

「改めて感じたこと・気づいたことは？」

主体	役割や意義
個人	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自分に出来る範囲で活動する ➤ コミュニティや市の取組への自発的な参加 ➤ コミュニティに関する情報を自ら集め、関心を持つ ➤ 近隣とコミュニケーションをとる
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 世代間の交流を図る ➤ 気軽に参加できる活動をする ➤ 市民をコミュニティに巻き込む仕掛けづくりをする ➤ コミュニティ活動の情報発信
市	<ul style="list-style-type: none"> ➤ わかりやすい情報発信 ➤ ボランティア・NPO 活動などの情報の発信 ➤ コミュニティ活動への支援 ➤ 目標の明示や計画の策定

5) Google スライドへの書き込み

①対話 1 「地域の課題に対して、自分だったらどのように関われそうですか？」

1G 対話 1 「地域の課題に対して、自分だったらどのように関われそうですか？」

多様性を尊重し認め合いながら
「浦安に関わるすべての人が
幸せを実感できるまち」

1. 防災（地震、火事、台風、集中豪雨 等）

隣近所の声を掛け合う、挨拶	震災で道路が崩れた、近所で手分けして整備を率先して	年数がたっても次困らないように助け合う自治会、隣近所のつながり	助けられる、工具など避難する備え
地震の被害あったことない、経験を話す機会	隣に家のことは気にしよう	地震で家が傾いた、避難した人も周りにたくさんいる	

2G 対話 1 「地域の課題に対して、自分だったらどのように関われそうですか？」

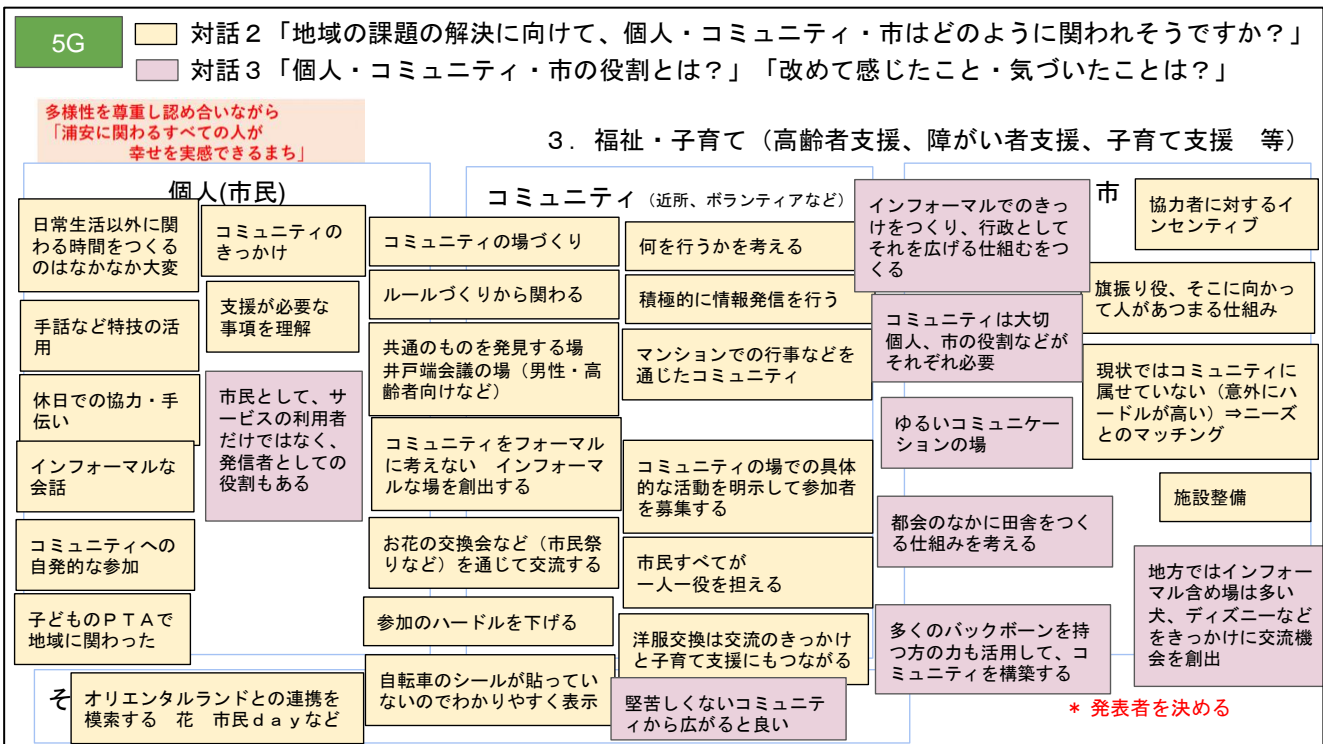
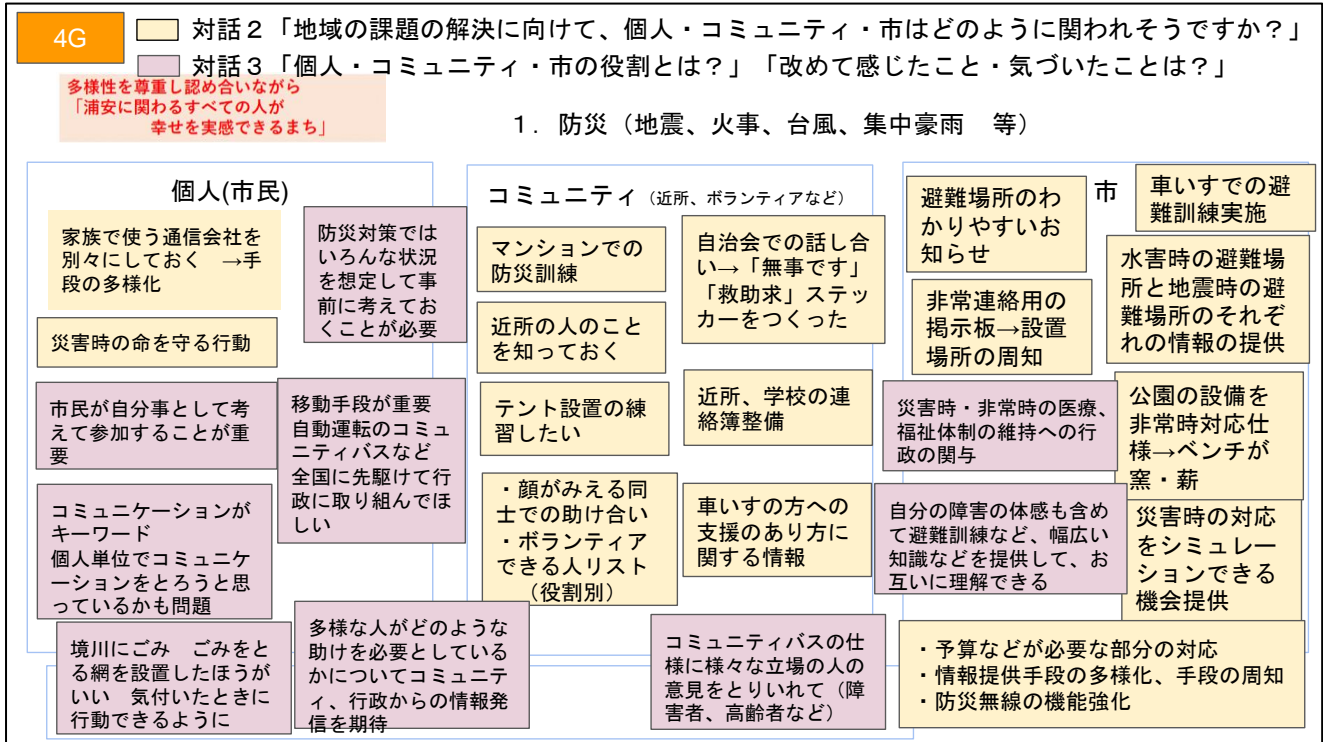
多様性を尊重し認め合いながら
「浦安に関わるすべての人が
幸せを実感できるまち」

2. 環境・景観（温暖化対策、河川・水辺、緑、ゴミ 等）

クリーン活動に参加する	人目につきにくいところにゴミがおちている、植え込みの奥とか	他のエリアどうなってる？とか情報収集をしたい	道路沿い海岸沿いにもゴミがある
たばこの吸い殻が落ちている	落ちていたゴミを分析する。減った、増えた・・・	散歩している時に目についたゴミを拾う。（綺麗な道で散歩したい）	草木が手入れされていない公園などで、草むしりや、草花を植える活動に参加
歩きたばこをしない	川の清掃に参加する		公園そのものが有機的に繋がっている環境
ゴミは持ち帰る	歩いている時、ゴミを捨てない	水辺を上手く使うことを考えたい	

②対話2「地域の課題の解決に向けて、個人・コミュニティ・市はどのように関われ
 そうですか？」

③対話3「個人・コミュニティ・市の役割とは？」
 「改めて感じたこと・気づいたことは？」



6) いただいた意見

Google スライドに書き込まれた意見を、項目ごとに整理して、記載しています。

①対話 1 「地域の課題に対して、自分だったらどのように関われそうですか？」

1. 防災(51)
普段、地域の活動に参加する
町会でどういう地域なのか知っておく
地域との活動にちょっとでも参加
マンションで知らない人が多いから、普段からコミュニケーション
自分を守る意識
側溝の清掃
地震の時に地域にどう関わるのか課題
たばこの吸い殻をきれいにしてポイ捨てを防ぐ
日用品を常に揃える
家族で待ち合わせルール
自分も人のためにも、どんな行動をするか決めておく
路頭に迷う人の防災お手伝い
断水の時
水の備蓄。3.11 では 3 週間くらい断水
地域の助け合いに関わる
高齢者への支援。水、トイレ
自治会の互助活動の参加
備蓄、避難場所の確認、地元の地理確認
震災で道路が崩れた、近所で手分けして整備を率先したい
隣の家のことは気にしようと思う
地震で家が傾き避難した人も周りにたくさんいた
時間が経っても困らないよう助け合う、自治会や隣近所のつながりを
工具など避難する備え
隣近所の声を掛け合う、挨拶
地震の被害あったことない、経験を話す機会
非常食を持っておく
垂直避難→自宅にとどまる
海の近くで津波を避けられる場所を調べておく
台風に乗って高台の避難場所を把握しておく
携帯バッテリー、水、食料などの備蓄
家族で集まる場所を事前に決めておく
帰宅できないときの対応策を考えておく
車いすで避難生活できる手段を考えておく
災害時に助け合える顔見知りを増やす
災害時の移動を事前にシミュレーション

簡単に組み立てできるテント
ツイッターで情報収集、速報性が高い
家族で使う通信会社をバラバラにしておく
災害時の命を守る行動
非常用電源の確保
保存食の備蓄
正しい情報の収集
ハザードマップの確認
自分ができることをやっていく
防災会(組織)を立ち上げた
水没地域に入っていないか
事前に被害を把握しておく
正しい情報が入る環境をつくっておく
すぐに行動に生かす
市へ意見を言い、対策を取ってもらう
日頃から関係性をつくっておく

2. 環境・景観(35)
電気自動車を購入する
再生エネルギー100%
クリーン電力を使う
マンションの屋上に太陽光パネルを乗せる。その構造設計を手伝う
他の町から憧れられる街。景観整備、ロケに使われるなど
自分の部屋をロケに提供できる
ゴミ拾い参加者を増やしたい
月2回、近所のゴミ拾いをする。公園など綺麗にし、そこでコミュニケーションをとっていきたい
愛護会を作り、補助金をもらい活動を円滑に行えるようにする
散歩しているときに目についたごみを拾う。きれいな道を散歩したい。
景色が良いところを散歩したい。休憩所が欲しい
散歩道の整備に関わっていきたい。
河川・緑の整備は個人では難しい
クラウドファンディングなど目的が分かりやすい寄付活動は身近な貢献になる
ゴミを拾うボランティア
ポイ捨てしている人を取り締まりなどできたら
川沿いにプランターを置く緑のボランティアなど、NPO などへの寄付
ゴミをなるべく出さない、分別をする
境川の景観に関心があるが、新町は橋ばかりで川沿いを歩ける遊歩道があれば。
境川は綺麗だけど、堀江地区のゴミが多く、拾うような心がけが大事
ペットボトルを買わないなど、プラスチックごみを減らす取り組みなどが自分の行動をちょっと変える
浦安はゴミのポイ捨てが少ないが別市では多いので気が付けばゴミ拾いをしている

クリーン活動に参加する
たばこの吸いがらが落ちている
歩きたばこをしない
ゴミは持ち帰る
植え込みなど人目のつかないところのゴミが落ちている
落ちているゴミの増減を分析する
川の清掃に参加する
ゴミのポイ捨てをしない
他のエリアはどうなっているか情報収集
道路沿い・海岸沿いにもゴミがある
草木が手入れされていない公園などで草むしりや草花を植える活動に参加
公園そのものが有機的に繋がっている環境
水辺を上手く使うことを考えたい

3. 福祉・子育て(46)
個性を持つ子が自分らしさを発揮できるようなことを支援したい
学童保育など預けているときに、急に面倒見てもらいたいときに対応できるのではないか
保育士だったが、求人情報でも登録制のものがあつた
保育園や老人ホームも増えた。ハード面での浦安市の福祉は充実していると感じる
老人が増えていくので老人の面倒を見た方がいい
80代の人を背負っていかないとけない。誰が面倒みるのか
ボランティア団体が100以上あるので整理して、老人会などとリンクして。
同じマンション内の高齢者等との関わり
近隣のコミュニティでも声掛け、あいさつ
働ける場での関わり
高齢者に対してできることはなかなか難しい
何が子育て支援か難しい、市ならではの取組への協力
市の子育てサービスを利用して、利用した意見も伝える
施設、サービスを利用する
これから利用する世代に対して情報を伝える
医療費、ちーバスなど知られていないサービスもある
関わっていない高齢者など、身の回りでできることも現状では難しい
声かけ、あいさつ
見て見ぬふりをしない
自身の経験を活かして協力
子育て支援という意味では、野球チームで他の家の子供と遊んでいる
高齢化による一人世帯の支援、買い物支援が必要になる
離れた家族の面倒をどうみるか
地域でお互いが知り合えるようなイベントを
町内会など、それぞれ関わりあうコミュニティがあるといい

介護はできなくても身の回りのちょっとしたお手伝い
若者が庭の掃除(テレビでみて感動した)
ボランティア活動が分かるような状態
地域で交流できるコミュニティがあれば参加する
高齢者のコミュニティを紹介、参加する機会を設ける
グループに参加できる環境をつくる、声掛けなど
コミュニティに参加するという自発的な行動を起こす
気楽に寄れるスポットがあると次の活動につながる
気持ちはあるがきっかけ次第、窓口があるといい
行政サービスとして市と連携してインセンティブをつける
お祭りの際などに気軽に話を聞いてあげる
手話を活用して聴覚障害の方のお役に立てる機会があれば
土日など子育て支援関連のお手伝い
コミュニティの場所、ルールづくりから関わっていく
犬の散歩の際など、インフォーマルに会話する
コミュニティをまず作る
自分の特技を生かす
交通公園を活用するなど外に出るきっかけを作る
必要なものを理解するためにもコミュニティが必要
日常生活以外に関わる時間を作るのは大変
子どものPTAで地域に関わった

②対話2「地域の課題の解決に向けて、個人・コミュニティ・市はどのように関われ
そうですか？」

1. 防災:コミュニティでできそうなこと(39)
新しい人が入りやすくして、震災の時に地域でどう乗り越えたらいいか話す場があれば
顔が見える人同士での助け合い
活動の情報発信
気軽に参加できる活動の場
共助に興味を持ってもらうのが課題
近所・学校の連絡簿の整備
近所でネットコミュニティ
近所の人を知っておく
車いすの方への支援のあり方に関する情報
コミュニティは新しい人に声をかけて入りやすく
災害時にあたふたしないように事前に役割を決めておくべき
災害時の企業連携
参加する人が出てくれば、周知
自治会が何をしているのかわかりやすくする
自治会加入は後から入るのは敷居が高く形骸化する

自治会で「無事」「救助求む」のステッカーを作った
自治会をやめる人が多い
市民の中に専門家がいる
助けを必要とする人がわかるようにステッカーを作った
楽しい防災訓練
地域により避難時の行動をとる
地域のコミュニケーションを日頃から
小さなコミュニティを作る
町内会での安否確認
町内会での活動
テント設置などの練習をしたい
日頃の訓練で地域のつながりを
病気の人を気に掛ける役割
普段からコミュニケーションをとっておく
防災キャンプ、楽しい活動を、子供たちを巻き込む
防災訓練の実施
防災非常食の試食
防災マニュアルは？
防災餅つき
ボランティア活動
ボランティアできる人リスト(役割別)
マンションでの防災訓練
水を給水場から家に運ぶ
昔は公民館で酒を飲んだり出店があつたりしたが知らない人が話せる環境づくり
1. 防災：市でできそうなこと(39)
HP だけでなくメール・広報誌
インフラ整備(状況に合わせてアップデートする)
お父さんの会をしていると、お金の問題と苦情が出てくる
気軽に参加できる活動の場
車いすでの避難訓練実施
掲示板、情報発信
公園の設備を非常時対応可に(ベンチが窯や薪に)
心構えとしての啓もう
コミュニティ活動の財政支援
災害時の市民がとるべきアクションについて市民に周知する
災害時の対応をシミュレーションできる機会提供
災害に応じた避難場所の情報提供
市じゃないとできないこと
市全体のことを、市やコミュニティに分かりやすくする
市のサーバーの強化、アクセスの分散

市の災害対策に関する情報をわかりやすく
市の防災マップの基準をわかるようにしてほしい
市や専門的なまとまった情報を積極的に発信。境川を防災に絡めて綺麗にする企画を立てる
詳細な情報発信、事例の共有
情報提供手段の多様化、手段の周知
情報の提供
専門家の方と最新の防災設備を準備する
専門知識、まとまった情報
相談窓口をわかりやすく
地域に貢献したい人が多くいるがお金がなく、支援が必要
ネット体制の啓もう
バックアップ環境
非常連絡用の掲示板(オフライン)の設置と場所の周知
避難時にアナウンスの手段を啓もう
避難場所案内が小さい、わかりにくい、案内の充実
避難場所の準備
避難場所の分かりやすいお知らせ
風水害の時の対策
防災関係の資料
防災訓練に変わる対策の情報発信
防災無線がよく聞こえる
防災無線の機能強化
予算などが必要な部分の対応
若者も参加しやすいイベント、防災活動

2. 景観・環境:コミュニティできそうなこと(24)
新しいコミュニティメンバーの勧誘
新しく入ってきた人にゴミ捨てルールのレクチャー
イベントでお互いの顔を知る
温暖化対策に清掃活動をする
花壇の管理をする
川の清掃イベント開催
近所の人で週1回ゴミ拾い実施
個別指導は住んでいる人が分からずやりにくい
ごみゼロ運動、自治会でやっている→みんなでやれば顔見知りにもなれる
ゴミ拾いイベントを実施
コミュニティ同士の連携
参加インセンティブの支給、内容を決めて運用
支援金の使い方の検討
自治体で共同ゴミ拾い

自転車にシール貼り
清掃活動などの掲示
団地前の不法駐輪
地域単位でのゴミ捨てルール設定(ゴミ捨て場の清掃など)
他の地域ではクリーン作戦などを行っている
ボランティア活動もマンション合同でできれば
マンションなどのゴミ拾い・清掃はできているが、公共空間は個人や団体で活動できれば
マンションの管理組合で住民に決まったルールを守らせる
緑化イベント開催
2. 景観・環境：市できそうなこと(34)
NPO 団体の広報
イベントの支援(金銭面などのリソース)
海の災害避難などのルート化
浦安のゴミの落ちている場所などの情報を伝える
大きなプランの設定：川・海の美化や緑化計画など
ガードレールがあって道が狭い、自転車道の整備
河川沿いの道が河口まで通れるように整備など県にも働きかける
活動していることを広報してくれれば参加機運も高まる
活動に対して目標を明示
活動の告知、広報
カフェや施設などを作り、活用してもらおう(休憩・トイレ)
キッチンカーの乗り入れを許可
公共の場所や人が住んでいない部分をどうするか、目が届いていない部分があって草刈りを増やす等
ゴミ捨て状況の情報を吸い上げ発信
ごみゼロ運動を広報したり、呼びかけたりしてほしい
ゴミの落ちていない街：啓もう活動推進と情報発信
ゴミ拾い後に、マイクロプラスチックに関する教育。学校でも取り入れて意識を高めれば。
参加インセンティブ(支給金)
三番瀬の潮干狩りが、再び子供たちができるようになれば
自分の住んでいない地域の情報共有
清掃活動のルールや方針決め
清掃活動やイベントの告知を出す
清掃用品の支給
脱炭素都市宣言
電力量削減したら商店で使えるポイント還元など
トイレや休憩用のベンチ、雨除けのベンチなどを設置する
道路のわきの除草などの回数を増やす
ドリンクやゴミ袋支給
何がゴミになり、リサイクルできるか市民に教えてほしい
ボランティアをポイント制にして後の生活サポートに使えるような制度

マンション管理組合・自治会の参加を促す
マンションの管理組合を自治会のコミュニティと考えて、活動を共有する仕組みを作る
マンションのゴミの出し方(工夫など)を共有してもらう

3. 福祉・子育て:コミュニティできそうなこと
井戸端会議の発展形
イベント活動など
うまくいっているかのチェック機能はコミュニティが担うべき
お花の交換会などを通じて交流する
学校制度の枠では難しい
学校単位や地域単位で情報連携できるようになるといい
学校というコミュニティを地域に開く
活動内容を伝える(行政とも連携)
気軽に話ができるところがあるといい
企業の人事にかかわっている等のスキルのある人が関わる
気づける範囲での関わりを増やす
共通のものを発見する井戸端会議などの場(男性・高齢者向けなど)
コミュニティに溶け込む、巻き込む仕組み
コミュニティの場作り
コミュニティの場での具体的な活動を明示して参加者を募集
コミュニティをフォーマルにせずインフォーマルな場を創出
参加のハードルを下げる
自治会活動
市民全てが一人一役を担える
世代間の交流、ゆるいコミュニケーションの場を設けてもらう
積極的に情報発信を行う
それぞれが持っているものを持ち寄る
何を行うかを考える
保育時間を外れていても人材を柔軟に活用
防災以外にも取り組む
盆踊りの準備(櫓組み)
マンションでの活動(集まる場の創出)
マンションでの行事などを通じたコミュニティ
見守り、助け合い
洋服交換は交流のきっかけと子育て支援になる
3. 福祉・子育て:市できそうなこと(16)
あらゆる人へ伝える方法・媒体があるといい
学校などを地域に開けるような制度設計
行政はありがとうなど感謝の反応がもらえることが重要
協力者に対するインセンティブ

現状ではコミュニティに属せていない人のニーズとマッチング
個人の活動を認める仕組み
コミュニティ間の連携を効率化、効果的に現場のニーズにマッチした形でできるように
コミュニティをつくりやすい仕組みづくり、ファミリーサポート
施設整備
市民活動の広報をわかりやすく。ボランティアグループがどれくらいあるかわからない。
地域でやっているイベントをわかるように
提供しているサービスの積極的な情報提供
旗振り役としてそこに人が集まる仕組み
場づくり。高齢者、障害者との接点がないため
民間が持てないような高度の専門性、心理カウンセラーなど、信頼のおける方を認定し、文科省等を通じた将来の制度づくり
目的、問題意識が共通する人を結びつける仕組みづくり

③対話3 「個人・コミュニティ・市の役割とは？」

「改めて感じたこと・気づいたことは？」

個人の役割等について(30)
自身がコミュニティに参加すること
どういうコミュニティがあるのか知る
自分も掲示板など一歩踏み出して行動
コミュニティにどう参加するか、どう情報をとっていくか
小さなことに戻って、挨拶とかがコミュニティにつながる
自分でできる役割、地域で実践する
自分ができるのは挨拶、隣組、町内会
近所付き合いの重要性を再認識する
自分の防災対策を再確認する
自分の命は自分で守る+コミュニティに参加して地域の役に立つ
コミュニケーションがキーワード、個人単位でコミュニケーションを取ろうと思っているのかも問題
コミュニティとの関わりが自分にはない、どこか他人事だったが仲間意識が芽生えた
多様性は難しいが個人としてしたいことを市に伝える
市民が自分事として考えて参加することが重要
防災対策ではいろんな状況を想定して事前に考えておくことが必要
自分の障害の経験も含めた避難訓練など幅広い知識を提供でき、それが相互理解になる
コミュニティや市への要求、個人ができることは考え込むと難しい。ハードルを上げずに個人でできることから積み重ねて行動を変えていきたい
個人は小さな一歩一歩が大事
個人でできることは限られている。コミュニティ・市の動きがよく分かった。そのような情報をもっと共有されるといい。有志のクラウドファンディングに参加や実践もあり。
できることを個人がやればよい。情報は掲示していてもスルーされることも多い。赤線で強調など工夫していきたい。おみやげをもって活動参加のお願いに行くと効果がある。そういう支援も今後いただきたい。いろいろ

ろなところと連携することも大切。
自治会の活動には参加しているが、市の動きには参加できていなかった。市民がもっと同じような意識で取り組めるよう対策が必要で、自分も考えたい。
いろんな意見があった。シニア世代なので、あとの人を大事にしているのかなと思ってます。自分にできることを奉仕していきたい
これからは、老々介護で外に出れない、そういった人へサポートができるといい。高齢者の方をお世話できるよう準備したいと思う。
自分自身が感じていることに飛び込んでみる(自ら情報をとる)
関われそうなことに見て見ぬふりをしない
あいさつ、ゴミ拾いなど身近な活動から少しずつ関わる
障害者支援については知らないことが多いので、知る努力をしてみる
個人として無関心ではよくない。自分も高齢者になるので、活動に参加してみたい。
地域の交流には参加すべきだと思うが、市の活動が分からないことが多く、自分からもアプローチしてみたい
市民としてサービスの利用者だけではなく、発信者としての役割もある
コミュニティの役割等について(32)
コミュニケーションがないまちではない
身近なつながりの中で防災について話し合う
地域連合会など横のつながりがある、防災について周知
コミュニティに参加しやすくする(ネットなども手段)
コミュニティ参加の手段を伝えることが課題
団地など大きなコミュニティ、隣近所が大事
近所とのあいさつできる関係。市とコミュニティの線引きはくっきり分かれていない
新たに転入してきた人をコミュニティに受け入れる仕組み
1人でも自治会に入ろうとするにはきっかけがあるといい
自治会を知らないという人がいないように支援
自治会に入るのはなぜか考える機会が必要
多様な人がどのような助けを必要としているかについてコミュニティ、行政からの情報発信を期待
クラブチーム単位での活動
境川にごみを取る道具を点在させ、気が付いたときに拾えるような仕組みを
あらためて、マンションの管理組合を共助体制としたい
自治会も子供が小さい時だけで、成人すると参加しなくなり、子供同士の接点も減った。世代間でモチベーションに差があり、無理して参加は難しい。
ゴミや雑草で困っている人がいるという情報が個人でも集められれば、それ自体がコミュニティにつながる。例えば大学生に少額で解消してもらおうなど。
マンションの自治会は楽しいイベントもあった。マンション単位でできることも多い(新町)
コミュニティとの関りが難しい、地域としてどうか
個人のお金を市がコミュニティに分配する役割だけでなく、市民がコミュニティにお金や時間を提供できる仕組みがあれば
自分の地域でできない他の地域の活動に参加するためにバスを借りることができる。自分たち(コミュニティ)で市とのパイプを作ることも大切。

他の課題でもそうだが、地域のコミュニティをどう作るのかが課題。今の時代に合ったやり方を模索しなければならぬ。
自治会の運営は難しいと思った。
コミュニティの持続可能性は難しい。組織ができているところはミッションに沿っていけばいい。サークルの持続可能性については若い方が入ってこないと続かない。
マンションは「挨拶をしなくてもいいから」と言われた。話すことを止めたら情報が入ってこない
便利すぎる社会(個人で完結するため)。個人で解決できない問題がいきなり法律問題に。以前なら子供会などのコミュニティで解決できるものもあった。そのスキマをインターネットを使ったテクノロジーが解決したりしている。ただ、利益主導になると困る。そこで利益主導ではないコミュニティの力が重要。
子育てのコミュニティから継続すると良い
どうすればコミュニティ活動が円滑に進むかも課題。
自治会活動は重要になるだろうが、これまで困っている人を助けるという観点はなかったので、自治会活動からボランティアへ。
堅苦しくないコミュニティから広がるといい
地方ではインフォーマル含めて場が多い。犬・ディズニーなどをきっかけに交流機会を創出
ゆるいコミュニケーションの場
市の役割等について(32)
地域でできないことを補う役割、カバーする
市民をいかに巻き込むか
足りないところを市がカバー、防災の日を周知
自治会によって差がある気がした、いいところをまとめて、浦安全体に行き渡らせる
市は正しい情報を開示する
市には市とコミュニティの役割について考える素材を提供してほしい
市民の役割、行政の役割について市民に分かりやすく伝わるように
3.11など災害時の教訓を世代間で伝えていくことが重要、市に担って欲しい
ポイント制など導入し興味を持ってもらう
情報媒体の充実(インスタ、ツイッターなど)
防災訓練参加率の向上
情報発信
来場者以外への情報発信
興味を持ってもらうための情報発信
ターゲット別のイベント→防災意識の向上につなげる
個人単位でコミュニケーションが必要という意識が高い。コミュニティが活発に動く支援
それぞれの市民活動がしやすくなるよう支援する仕組み
防災への意識を高める
防災を深く考える市民会議があったらいい
災害時・非常時の医療・福祉体制の維持への行政の関与
コミュニティバスの仕様に障害者など様々な人の意見を取り入れてほしい
要望を聞いてもらえる場所がもっとほしい。脱炭素宣言の話など初めて聞いた。グローバルな視点で考えてみたい。

〇〇宣言を出して喚起。
公民館に行ったり、調べたりすれば情報が集められるのか？市がもっと発信。
ふるさと納税で市税が流出しているので、市が NPO 活動の広報などで寄付につながるような支援をしてくれれば
意識を高く持つべきだと実感した。個人でできることはゴミ分別など、市にも要望だけでなく広報・情報発信を強化してほしい
自治会に入ってみて、近所・周りの人を知った。祭りやイベントもやっていて、楽しめることもあり、それでコミュニティに参加。市でも自治会活動をもっとサポートしてくれれば。
ボランティアや NPO の情報がなく、やりたくてもわからない。連絡先など情報の整理を市が発信
退職世代にセカンドライフを教えてもらうなどニーズマッチをしないと。行政側でもそれが正しく動いているかチェックしていくこと
つながり、コミュニティという課題があり、関わっていく意識が大切。市はブランディングが大切で、浦安市がいいと思えるといいのでは。
インフォーマルでのきっかけを作り、行政としてそれを広げる仕組みをつくる
多くのバックボーンを持つ方の力も活用して、コミュニティを構築する
その他(全般・感想等)(27)
この会議は市民が考える良い機会で、誇りに思う
防災について考えることがなかった。きっかけになったし、至る所であれば、自治会や町内会につながる
歴史がない。図書館を地元文化の交流の場にしてほしい
適度なおせっかいができるまち
コミュニケーションが難しい時代で、ネットは自由なので自治会の HP など
浦安が魅力のある街になってほしい
市とコミュニティと市民の隙間を埋める機能、仕掛けづくり
移動手段が重要で自動運転のコミュニティバスなど全国に先駆けた取り組みを
未来のまちづくりのモデルになる浦安
いろいろな意見を聞いて良かった。市が聞く耳を持つ機会が欲しい。民間活用。
いろいろな方の意見が聞いて勉強になった。
市に頼るだけでなく、自助共助が必要と思った
改めて、市に足して要望を伝える場が少ない、聞いてもらえる場が欲しいと思った
町全体がスポーツジム宣言もいいと思う、健康都市宣言
市に長く住んでいる人と話すいい機会になった。もっと交流の機会が欲しい
地域活動ができていなかったの、市民会議も参加してみた
個人は積極的に情報を入手し、生かす。コミュニティは気軽に話ができるような入りやすい形にして、情報提供をする。市は広報だけでなく内外からみた浦安市のブランディング。
まずは話すことが大事。コロナも含め話すことがなくなった。
全体を通して、相手が何を望んでいるか理解するのも、自分から発信する必要がある。対話の重要性を実感している。
PC が発達して、個人に集約するため若い人の成功体験が少なくなっている。昔は大勢の人間が協力してやっていくような時代(そこで他の人の力も借りながら成功体験を積んでいく)だった。今は自分のことは自分でやっていくというスタンス。

子供がボーイスカウトに入っていた。親も参加して自分自身も学ぶことがある。上と下の子供の繋がり、親同士の繋がりができていた。先日、キャンプするといっても、親が参加しないで、子供だけ行くという感じで少し驚いた

参加したい方の背中を押すような仕組みを考える

小中高などの教育環境の充実が必要

浦安と言えばディズニーランドと液状化で、意外と知られていない。

今回のこの活動がどのように生かされたか、フィードバックしてほしい

コミュニティは大切。個人、市の役割などがそれぞれ必要

都会の中に田舎をつくる仕組みを考える

(5) 第5回浦安まちづくり市民会議

1) 開催日時・参加者数

令和3年6月26日(土)

午前：10時～12時 参加者：27名

午後：14時～16時 参加者：25名

2) テーマ

「まちづくりにおける市民と市のつながり（連携・協力）について」

「浦安まちづくり市民会議を振り返って」

3) プログラム

時 間 上段：午前 下段：午後	内 容
10:00-10:10 14:00-14:10	■市長あいさつ ■会議の目的・概要説明
10:10-10:20 14:10-14:20	■対話のルールについて ■自己紹介&これまでの会議に参加して気づいたこと【※】
10:20-10:40 14:20-14:40	【対話1】【※】 ■「それぞれの役割のまとめから、実際には難しいと感じる部分がありますか？」
	(休憩(5分))
10:45-11:15 14:45-15:15	【対話2】【※】 ■「それぞれがどのように協力すれば、実際に難しいと感じたことが、うまくいくと思いますか？」
11:15-11:30 15:15-15:30	■全体発表
11:30-11:35 15:30-15:35	■浦安まちづくり市民会議の振り返り
11:35-11:55 15:35-15:55	【対話3】【※】 ■「市民会議を振り返って、まちづくりに関する条例に、どのような「キーワード」が含まれると嬉しいですか？」 「皆さん自身は、まちづくりにどのように関わりたいですか？」
11:55-12:00 15:55-16:00	■写真撮影 ■事務連絡

【※】ブレイクアウトルームに数名のグループに分かれ、グループディスカッションを実施

4) 開催結果

対話1～3について、参加者の皆さまからいただいた主な意見を整理して、記載しています。

①対話1「それぞれの役割のまとめから、実際には難しいと感じる部分がありますか？」

主体	主な意見など
①個人	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 身の回りや生活で時間が取れない ➤ コミュニティに参加するモチベーションのある人が少ない ➤ 近隣とのコミュニケーションが難しい
②コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自治会に参加するとなにかやらなければいけないという義務感が発生する ➤ 仕事と子育てで、コミュニティまで手が回らない。負担感が気になる ➤ コミュニティに関する情報がない
③市	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報過多で、自分に必要なものが分からない ➤ 情報を問い合わせる窓口がなく、情報が見つけない ➤ 生活の導線上にないと、市の情報は見えてこない

②対話2「それぞれがどのように協力すれば、実際に難しいと感じたことが、うまくいくと思いますか？」

主体	主な意見など
市・企業	市と企業が協力してイベントを開催などがあっても参加しやすい。千葉県民の日など活用。
企業・学校	通勤・通学者を地域と結びつける。企業・学校と地域コミュニティの協力。
P T A	P T Aなど子どもを通しての活動なら参加しやすい。ママ友など。
自治会	自治会が地域住民をまきこんでやっていく。お祭りだけでなくイベントなどを開催する。
学校・大学	学校や大学と協力して、オープンな学びの場をつくれれば参加してくれる人も増えるかも。
市	団体などの主体同士を結びつける。
市	広報そのものをHPにあげるように発信してほしい、図書館や市の窓口（転入者）での発信。
その他（ツール）	主な意見など
イベント	イベントで他のブースをのぞいたりして新たな興味のあるものと繋がったりした。今の状況ならネットを活用してでもつながれる。
インターネット	コミュニティのポータルサイトがあると探しやすい。
アプリ	情報発信はアプリなど。浦安市は若い街なので、デジタルも受け入れられやすい。全国に先駆けて。

③対話3「市民会議を振り返って、まちづくりに関する条例に、どのような「キーワード」が含まれると嬉しいですか？」

交流・コミュニティに関するキーワード		
つながり	絆	コミュニケーション
個の尊重・多様性に関するキーワード		
多様性の尊重	個性を大事にできるまち	違いを認める
市民参加・主体に関するキーワード		
わたしたちのまち	市民の街づくりへの 参画意識が高い、未来	みんなが参加、みんなが協力
水際線・環境に関するキーワード		
水際環境	海、リゾート	水際
連携・支えあいに関するキーワード		
市民との連携がとれる まちづくり	相互扶助	助け合うまち

④対話3「皆さん自身は、まちづくりにどのように関わりたいですか？」

主な意見など
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現状はコミュニティに属していないので、何かしらの浦安市内のコミュニティに参加して、市の中でつながりが持ちたい。 ➤ これからもいろんなコミュニティに積極的に参加したい。団地内の無関心な人を巻き込むためにも、雑談などから始めて行きたい。 ➤ やれるところから参加。市のイベントに参加したい。自分の知見をまちづくりに活かしていきたい。 ➤ 自治会の行事に積極的に参加していきたい。 ➤ 普段の生活の中で近所の人と話すくらいでもいい 挨拶+アルファで違うことができるかもしれない。 ➤ 市民の交流のイベント、企画、運営が出来れば手伝いたいと思っている。 ➤ 社会福祉やサークルに既に関わっている。現場は不満が多い。問題が多い。解決・整理する必要がある。

5) Google スライドへの書き込み

①対話 1 「それぞれの役割のまとめから、実際には難しいと感じる部分がありますか？」

1G 対話 1 「それぞれの役割のまとめから、		難しい理由は何か考える
<p>多様性を尊重し認め合いながら 「浦安に関わるすべての人が 幸せを実感できるまち」</p> <p>実際には難しいと感じる部分ありますか？」</p>		
個人	<ul style="list-style-type: none"> 自分に出来る範囲で活動する コミュニティや市の取組への自発的な参加 コミュニティに関する情報を自ら集め、関心を持つ 近隣とコミュニケーションをとる 	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすい情報発信 ボランティア・NPO活動などの情報の発信 コミュニティ活動への支援 目標の明示や計画の策定
人とううのはダメという今の環境、コロナがなくなったらこんな風に出ようが出てくるという	世代間交流が難しい、交流するきっかけづくりが難しい	例) 市からの情報を見れていない、自分ですぐに関わりがないと見ない
ゆるい町内会なので、大変というイメージだけで。やってみたらそんなことない。周知したらいい。自治会費無しにしたい。	コミュニティ活動に興味があるけど、どうい活動があるか知らない、自分から知ろうとしないとわからない	市民と市が国に働きかける
ゆるい繋がりが	古い街なので年配の方が多い、自治会の輪番以外の人が参加できない、新しい意欲のある方が参加しづらい。自分の時間の調整が難しい。	全然知らない土地だったので、市の情報や公民間に参加した
自治会に入りやすい、いいところ、メリットを伝える場所があったり、伝えることができれば中々難しい、入ってくださいと言っても断られる	近隣清掃や自治会をやっているが、自治会館で年配の方と囲碁と将棋やってる。仲良くなれて良かった	市への要望を伝えるのが難しい
役員してくれる人がいなくなってる、若いパワーがなくなってる。	参加しやすい仕組みが必要	PTAの役員ぎめ、参加が恐怖...役員になった人のやるが多かったり、拘束される
	ゆるいつながり、拘束されそうと、気軽になると参加しやすい	自治会、ゆるいけど、自分ができることやってるひとが多い。参加していろんな人と会うのがいい

2G 対話 1 「それぞれの役割のまとめから、		難しい理由は何か考える
<p>多様性を尊重し認め合いながら 「浦安に関わるすべての人が 幸せを実感できるまち」</p> <p>実際には難しいと感じる部分ありますか？」</p>		
個人	<ul style="list-style-type: none"> 自分に出来る範囲で活動する コミュニティや市の取組への自発的な参加 コミュニティに関する情報を自ら集め、関心を持つ 近隣とコミュニケーションをとる 	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすい情報発信 ボランティア・NPO活動などの情報の発信 コミュニティ活動への支援 目標の明示や計画の策定
コミュニティに積極的に参加するモチベーションがある人が少ない。コミュニティのことを考える人が少ないと思う。	自分一人で動くのはハードルが高い。旗振りの人がいたらいいな。	例) 市からの情報を見れていない、自分ですぐに関わりがないと見ない
近所の方とのコミュニケーションが少ない。興味がある所を見つけるのが難しい。参加する勇気が出ない。	個々のサークルで話をどこに持って行ったらいいかわからない。	情報過多になっている。自分に必要な情報が何がわからない。
関わりを要求しない。つながりを望まない	巻き込む仕掛けなどは市と連携、コミュニケーションを取らないと難しい。情報発信など個人では難しい。	様々な情報と言わせる窓口がなく、情報が見つけにくい。

②対話2「それぞれがどのように協力すれば、実際に難しいと感じたことが、うまくいくと思いますか？」

3G 対話2「それぞれがどのように協力すれば、実際に難しいと感じたことが、うまくいくと思いますか？」

多様性を尊重し認め合いながら「浦安に関わるすべての人が幸せを実感できるまち」

コミュニティや市の取り組みへの自発的な参加とはいえず家事等で優先順位がさがってしまう

昔からいる人と最近引っ越してきた人にはコミュニケーションが難しい

プライバシーとコミュニティとの兼ね合いで参画障壁がある（プライバシーも大事なので遠慮はある）

自治会に参加できていない、戸建てではない環境が増えてきたから

コロナで人と会えなくなったことが問題、イベントができない

様々なテーマで活動できるようなきっかけを作る。例：三番瀬のクリーンアップ活動

最近入ってきた人同士のコミュニティ、不動産会社からの紹介

自治会に参加するとなにかやらなきゃいけないという義務感が発生するので、その心理的負担を下げる工夫を

SNSのような自己開示ができるような必要最低限相手を知る機会ができれば

オンライン上でも会話していくこと

引っ越してきたかたに、自治会の活動を市で紹介する。負担のかからないということを伝える。

会に参加することによってかいつするようなことがあれば。

たすけてもらいたいということを開示していく。子供を預かってもらう等。

コロナ渦で一般の病院が受け入れてくれなかったり、困ったときに

コミュニティのポータルサイトがあると探しやすい

市民家族 自治会 市長・職員
 通勤者通学者 PTA 近隣自治体
 寄付者 老人クラブ 千葉県国
 企業 ボランティアNPO 学校・大学

まちづくり

4G 対話2「それぞれがどのように協力すれば、実際に難しいと感じたことが、うまくいくと思いますか？」

多様性を尊重し認め合いながら「浦安に関わるすべての人が幸せを実感できるまち」

コミュニティ活動の情報発信
 具体的な目的がある集まりのほうが参加しやすい⇒目的別のグループの一覧あるといい

ボランティア・NPO活動の情報発信

近隣とのコミュニケーション
 コロナでイベントなかった個人がふみだす後押しがほしい

ボランティア活動への支援

近隣とのコミュニケーション
 →企業が橋渡しする ボランティアと協力して従業員（市民）に情報発信する

近隣とのコミュニケーション
 →通勤・通学者を地域と結びつける→企業・学校と地域コミュニティの協力

コミュニティ活動への支援
 もちつきに浦安高校が参加して盛り上がった
 →自治体が団体などの主体同士を結びつける

コミュニティ活動の情報発信
 →団体と浦安市のあいだの緊密な情報交換を通じて市民・学生への情報発信

ボランティア・NPO活動の情報発信
 →学校のサークルにボランティア活動に参加してもらう

市民家族 自治会 市長・職員
 通勤者通学者 PTA 近隣自治体
 寄付者 老人クラブ 千葉県国
 企業 ボランティアNPO 学校・大学

まちづくり

③対話3 「市民会議を振り返って、まちづくりに関する条例に、どのような「キーワード」が含まれると嬉しいですか？」

「皆さん自身は、まちづくりにどのように関わりたいですか？」

5G 対話3

多様性を尊重し認め合いながら
「浦安に関わるすべての人が
幸せを実感できるまち」

「市民会議を振り返って、まちづくりに関する条例に、どのような「キーワード」が含まれると嬉しいですか？」

当初は「魅力」で市が良くなる、その後、個人の関わりがあるなかで「個人を活かす」

「可能性」「挑戦」：市民が今後生き生きと生活する上で、コミュニティと出会って可能性が開けたり、役割を把握できるといい、能動的にやって衰退してしまわない

将来に向けてのまちづくり、次世代がいかに生きるか、そこに向けての考え方

ふるさとにしたいまちづくり：いつか戻ってきたいと思えるように、誇りが持てるように

「皆さん自身は、まちづくりにどのように関わりたいですか？」

自分が興味・関心のあるコミュニティに入ってみようかな。どういふのがあるのかわからないので、調べるところから。ふるさとにしたいというのは良いと思うので、TDL以外にも誇れるまちに

入れるコミュニティを探して入っていきたい。5回にわたってやっても、直接会っていないので、それもひとつのコミュニティ

絆でつながっていければ。この会議に参加した理由も、大勢が参加して意見が聞けるから。オンラインより対面の方が伝わることも多いので、少し残念。コミュニティの参加は、ゆるやかに長く続けられれば

まずは同じマンションの方々へのあいさつや助け合いで、コミュニティまでいかなくても多少のつながりができれば。

6G 対話3

多様性を尊重し認め合いながら
「浦安に関わるすべての人が
幸せを実感できるまち」

「市民会議を振り返って、まちづくりに関する条例に、どのような「キーワード」が含まれると嬉しいですか？」

「多様性」価値観を認め共有していくことがひつようが必要

「海、リゾート」聞いているとわくわくした。

「災害に関する何か」震災の際液状化を体験したため

「相互扶助」将来支えあいながら、生きがいを持って生きていく社会になるため。

「つながる」つながるや交流していくことが必要。

「顔が見える」こういう会議とかで、顔が見えると市への愛着につながる。

「皆さん自身は、まちづくりにどのように関わりたいですか？」

声かけになる人になっていきたい。何かをしたいという思があった。声掛けをしている人な人を引き合わせるような場を作りたい。

情報の発信をしていきたい。自分自身も情報を見つけた時に喜びを感じた。見つけるのが難しい人に情報が見つけてもらえるように活動していきたい。

コミュニティの運営側に回り、コミュニティ活動の継続に尽力し、浦安市のまちづくりに参加していきたい。

今まで、自分が上の世代に助けてもらった。この恩を次の世代につなげていくように活動していきたい。

6) いただいた意見

Google スライドに書き込まれた意見を、項目ごとに整理して、記載しています。

①対話1「それぞれの役割のまとめから、実際には難しいと感じる部分がありますか？」

■個人

情報・きっかけ (13)
コミュニティに入るきっかけがない。市のコミュニティだとかかわりがない。親世代だと PTA などがあるが。
団地に住んでいて近隣とコミュニケーションをとっていない、取り方が分からない
近所の方とのコミュニケーションが少ない。興味がある所を見つけるのが難しい。参加する勇気が出ない。
参加したいと一歩を踏み出す動機、時間をつくれな
若い人参加する動機がない、参加したくても知らない人がいて不安がある
男性は特に職場以外で意見を出すことが難しい
近隣とのコミュニケーション。コロナでイベントなかった。個人がふみだす後押しがほしい
近隣とのコミュニケーション。女性は機会が多い
近隣とのコミュニケーション。おみこしの情報を近所の知り合いから得た
情報としてわかっているけどハードルが高い→生活のリズムが変わってしまうとためらう。活動の頻度など、もっと情報の粒度が高ければ・・・
近隣コミュニティは言葉では簡単だけど・・・マンション内の挨拶はできても、それ以外は難しい
近隣への声掛けといってもプライバシーの問題で距離感が難しい
コミュニケーションが苦手な活動に入りやすい、という人が多いのではないかと。コミュニティに入るキッカケがあれば入れる。
負担・障壁 (8)
コミュニティや市の取り組みへの自発的な参加とはいえ家事等で優先順位がさがってしまう
プライバシーとコミュニティとの兼ね合いで参画障壁がある(プライバシーも大事なので遠慮はある)
昔からいる人と比較して最近引っ越してきた人にはコミュニケーションが難しい
興味があっても知らない人が不安。一歩踏み出せるように情報発信を
朝のラジオ体操している方々がいて興味はあるが、入りにくい。親しい人がいるわけでもなく、途中からは入りにくい
個人の役割となると、ずっと継続するとなると難しい。気楽に参加や意見ができるようになれば。
個人でやるのがいっぱい。ほかのことはできない。
役割が義務だと難しい、参加は権利として考える。楽しいから入れるようなコミュニティ
興味・関心 (8)
コミュニティに積極的に参加するモチベーションがある人が少ない。コミュニティのことを考える人が少ないと思う。
関わりを要求しない。つながりを望まない
関心のない人に、関心を持たせるのは難しい(あまり強くは押せない)

関心がなくても困っていない人もいる 目的意識もないと
関心のない人をどうするか、興味のあるものがわからないといけない
コミュニティに入る動機がない。友達が十分いる。新しい関わりがなくてもいい。コミュニティに魅力がないと入らない。
自発的な参加、市民会議も市の案内も時間があつたからできたが。参加したくても時間が合わない。いろんな選択肢があれば参加できるが・・・
あいさつする人・しない人など、無関心な人をどう巻き込んでいくか
その他 (7)
マンション住まいだと難しい
マンションにいと近所とのコミュニケーションは難しい。あいさつをかえしてくれない。
人と会うのは駄目という今の環境、コロナがなくなったらこんな風にしようが出てくるといい
自分でできる範囲で活動する
個人・団体が集めていくことでコミュニティ化していく。
地域にどのように貢献できるのかがわからない。
世代間の交流は難しい。自分より年配の人より以前バスでスマホを使っていて怒られた。他の世代の人の気持ちがわからない。

■ コミュニティ

情報・きっかけ (14)
コミュニティ活動に興味があるけど、どういう活動があるか知らない、自分から知ろうとしないといけない
コミュニティ活動の情報発信。具体的な目的がある集まりのほうが参加しやすい⇒目的別のグループの一覧あるといい
個々のサークルで話をどこに持って行ったらいいかわからない。
巻き込む仕掛けなどは市と連携、コミュニケーションを取らないと難しい。情報発信など個人では難しい。
コミュニティ側が何をどう発信していくか
新しく来た人を受け入れる情報発信がうまくできていない。うけとれるようにする
公民館などに情報が貼られていても見ない。公民館に行かないので。
コミュニティ活動の情報発信がなくて参加しづらい。インターネットのほうが知りやすい。
コミュニティ自体が把握できていない、何かやっても後から来た人はできあがったものに参加しづらい
浦安にきて浅い人に対して、コミュニティ側があまり望んでいない？ 情報が少ない
個人情報の管理が活動のネックになる場合がある
少し関心がある人に対しては、コミュニティ側が積極的に
コミュニティに参加してどうなる、しないとどうかわからない。
自治会にどう入るかわからない
担い手不足・世代差 (13)
役員の成り手がなくなり、若いパワーがなくなってる

企画する人がいないと難しい
自治会を退会する人が続いている。自治会の集まりに魅力がない。自治会の魅力ってなんだろう。地域の活性化の根本的な問題がある。
参加する人がいない。あっても興味があっても中々入りづらい。
リーダーシップが必要、リーダーがいない。世代交代がうまくいかない。会話で裾野を広げる必要がある。
自分一人で動くのはハードルが高い。旗振りの人がいたらいいな。
老人会の加入 7%しかない。新規加入がほとんどない。参加する人は懇親が目的であり、市の目的は、地域活性・福祉でかい離がある。70代と80代でも違う。
団地の自治会も参加者が少ない。義務か、自発的かというのが難しい
世代間の交流とはいえ、話し合う機会がもてない
接点がない人との交流は難しい（学生など）
世代間の交流を図ろうとしてもコミュニケーションのやり方が変わってきている。SNS、メールやLINE等、非対面が主流の現状
コミュニティ参加について、参加したい人、しづらいひと、したくないひとがいる。活動には対話がないといけない。世代間の交流の問題があるが、特技、趣味などから参加できれば。
若い人が入ってこないので活動継続が出来ない
負担・障壁（12）
古い街で年配の方が多い、自治会の輪番以外の人が参加できない、新しい意欲のある方が参加しづらい、自分の時間の調整が難しい
参加する人がいない。あっても興味があっても中々入りづらい。
参加しやすい仕組みが必要
自治会に入りやすい、いいところ・メリットを伝える場所があったり、伝えることができれば。入ってくださいと言っても断られる
ゆるいつながらり、拘束されないよう気軽になると参加しやすい
PTAの役員決めの参加が恐怖、役員になった人のやるが多かったり、拘束される
コミュニティに入る勇気が必要。
気軽に参加できる活動をする
入ったら最後やめられない。仕事と子育て、コミュニティまで手が回らない。入るのが怖い。生活が壊れる。負担感が気になる。負担があるからやめます、と言いづらそう。
自治会が昔ほど盛り上がっていない、若い人が参加していない → 共働きもあり、コミュニティ活動に割ける時間がない
決まりきったこと、枠の中でやるのはしんどい。
気軽に参加できるようにと思っても、市民活動の中では活動に対する強制力が強すぎると気持ちはあっても参加は難しくなる
その他（9）
コロナで人と会えなくなったことが問題、イベントができない
市として人の入れ替わりがあるので、コミュニティ・交流など維持が難しい
自治会に参加できていない、戸建てではない環境が増えてきたから
SNSではつながれるが、近所では難しい

近隣清掃や自治会をやっているが、自治会館で年配の方と囲碁・将棋など仲良くなって良かった
自治会はゆるいけど、自分ができることをやっている人が多い。参加していろんな人と会うのがいい
コミュニティが固定しまっているところに、みんなが参加できるようにするにはどうしたらいいか
色々な受け皿がたくさんあったほうが良い
昔は商店街での買い物など経済活動とコミュニティとのつながりがあった。どのようにコミュニケーションをとるか仕掛けは必要と感じる

■市

情報発信（18）
情報過多になっている。自分に必要な情報が何かがわからない。
様々な情報を問い合わせる窓口がなく、情報が見つけない。
わかりやすい情報発信。ボランティア情報がみつからない。目的別情報があるといい
発信していても、生活の導線上にないと見えてきづらい。例：テクノロジーの活用で入りやすく
市のアプリで情報の通知を設定するなど
市のHPを見ればある程度はわかるが、パソコンがある・時間がある人は見る
必要な人に情報が届くのが難しい
ボランティア・NPO活動への情報発信
市のHPは用事がないと見ないけど、通知が最近届かない？ →逆に多すぎるかも
情報を自分が探しに行かないといけない。何か良いツールがあれば
若い世代は、SNSで魅力的な情報を流す、違う形で関心を集める必要がある
市からの情報を見れていない、たくさんの情報見れないかな
災害情報などは登録すれば配信してくれる。→他の情報も同じように配信していけば。
広報は新聞→新聞は取っていない、公民館などに取りに行く人も少ない 市で発信していても、つかにいくのが難しい層も
広報うらやすの取得場所、新聞がないと市のHPをよく見るようにしている、更新情報を取得できるようにして、紙メインだと限られてしまう
わかりやすい情報発信とあるが、市民に伝わるようにするためにはわかりやすい情報はコミュニティがより咀嚼していく必要がある。
若い人・学生は、新聞ニュースを見ない。SNSで情報収集。広報うらやすはいろんな情報があるが、丹念に読まない情報が入ってこない。きちんとしなくても、みんなにゆるく情報が入ってくる。必要な人に配信する仕組み。
防災に関する市の情報発信はよくできている（市民便利帳）
支援（4）
コミュニティ活動への支援
受け皿を作る腕のサポート、仕掛けづくりが難しい
コミュニティのサポート、継続に向けてサポート出来ていないところ
情報はあがるが、参加のハードルを下げる工夫をしてほしい
その他（3）
市民と市が国に働き掛ける
市への要望を伝えるのが難しい

全然知らない土地だったので、市の情報や公民館活動に参加した

②対話2「それぞれがどのように協力すれば、実際に難しいと感じたことが、うまくいくと思いますか？」

市 (22)
情報のタイミング、探すときにちゃんと見つかる。市のHPだと安心感がある
コミュニティに入るきっかけがない。市のコミュニティだとかかわりがない。親世代だとPTAなどがあるが。
市と協力して新しく活動を立ち上げる場をつくる。
市が中心になってボランティアを広げる活動をしてほしい。男女共働き。社会貢献しないといけない。共同参画の考えを植え付ける(国、大学)
市と市民が一緒になって、県・国の管轄に働き掛ける。ワンストップ。
引っ越してきた方に、自治会の活動を市で紹介する。
市のTwitterなども情報発信が少なく感じるので、積極的に流してくれると身近に感じられ、若い人の利用もあるので
参加したメリットを事前にイメージできない。広報うらやすの紙面に写真を載せる、HP、インスタで発信する。知った人がいればつぎにつながる。(市民、市)
市が講習会をきく機会があるといい。お試し参加。きっかけづくり
特養と学校や企業が連携して高齢者のコミュニティ参加を促す→市の仲介に期待
若い人が入らないことをコミュ単体で考えず、市などが主催で、勉強会などで課題や事例を学ぶ、横のつながりにもなる
転入してきたとき=慌ただしいので、必須じゃない部分までは手が回らない、落ち着いたところで間口が開いていれば(HPに掲示板的な募集案内など)
コミュニティ活動への支援。もちつきに浦安高校が参加して盛り上がった→自治体が団体などの主体同士を結びつける
コミュニティ活動の情報発信→団体と浦安市のあいだの緊密な情報交換を通じて市民・学生への情報発信
コミュニティの維持。ライフステージごとのコミュニティの情報提供、表示。その中身、どういう人がいるのか(地域、世代など)。
広報そのものをHPにあげるように発信してほしい、図書館や市の窓口(転入者)での発信も
活動・サークルがわからない→ITが発達しているので、テーマごとのチャンネルで市が用意して、活動を紹介していく
共同体と市が五分五分でないといけない。
管理が面倒、市役所がサポートする
浦安新聞などのイベント情報を見て参加してもらう
ポイントをくばったり、子どもを預かってもらったりしてもらえたら参加しやすい
三番瀬ごみひろい イベントの時に交流の枠組みを行政がつくる
自治会 (19)
自治会は大家さん以外も参加している、近隣の人と行動する、自治会に参加する
自治会ボランティア、市民家族の協力。家族が自治会に入っているが活動していない。ゴミ拾いや

暮らしの身の回りをきれいにする
誰に伝えたら、言える場所があれば言えるのか。自治会とのつながりで市に要望を出す。
企業は都内勤めが多い、自治会がやはりベースにある
自治会に参加するとなにかやらなきやいけないという義務感が発生するので、その心理的負担を下げる工夫を
自治会が地域住民をまきこんでやっていく。お祭りだけでなくイベントなどを開催する。
自治会は何をしているのかわからない。何をしているのか情報発信すればいいのでは。つながりを持つメリットを発信。
マンションの管理組合（住民は必須）がコミュニティに位置づけられていない。マンション住民が多いので、市との連携が必要。ルールは管理組合のほうが徹底しやすい
団地管理事務所で登録→自治会の案内がある。管理事務所や不動産屋などが紹介（個人情報に注意）
自治会連合会や管理組合連合会がある。そういったところで勉強会などができれば。
中間としてのコミュニティが何ができるか、小さなところでも自治会になれば、情報も入ってくる
自治会・サークルがどの程度あるのか・活動について情報を出して、興味がありそうなものがあれば参加につながる（簡潔に）
自治会＝住んでいて入るゆるいコミュニティ、これが中心になってPTAや老人会に関わっていけば学校の交通案内などを協力する
小学生、おやじの会、キャンプ、抽選するほど人気。子供がしたいイベントをコミュニティが実施すれば、子供というカテゴリで考えれば。（自治会、市民）
自治会では予算が出ている。活動で一部をサポートができれば
自治会のメリットがどこにあるかを突き詰めると難しい。若い人が、と言われると反発されるかも。お互いに共同して住みよくして
近隣とコミュニケーション、自治会の市民への情報発信充実
自治会、PTA、エリア的に狭い。横串をさせるような。地域ではなく、特技などでつながればいい。
近所の方や、自治会の方々から声をかけてもらう
企業（12）
市民と企業の連携
近隣とのコミュニケーション→企業が橋渡しする ボランティアと協力して従業員（市民）に情報発信する
ネット環境を活用し、自分の興味のある情報を見つける。企業と連携。
関心にピンポイントにどうアプローチするか、「子育て」ではまだ広い、企業も市全体というより小さい店など対象にすれば
街と企業が協力してイベントを開催、などがあっても参加しやすい。千葉県民の日など活用
企業（例えばディズニーランド）と協力して、商品や入場券を配りイベントに参加してもらう
最近入ってきた人同士のコミュニティ、不動産会社からの紹介
将来40代になったときに将来を想像、将来の悩みの気づき、メリットを知ってもらう。会社の研修の場面で声かけ
近隣とのコミュニケーション→通勤・通学者を地域と結びつける→企業・学校と地域コミュニティ

の協力
新しく来た人の接点＝お店や企業もあるので、そういう起点でも参加ができるようになれば
市内にキッザニアのような機会を作る。（企業、浦安市）
S D G s の枠組みの取組を企業と行政との連携ですすめていく（オリエンタルランド）
老人クラブ・ボランティア（9）
老人クラブはみんな仲よし、楽しみに長生きしよう
老人クラブって表現がちょっと...老人クラブで社会福祉から来ている。老人という言葉が禁句。 シニア
老人クラブで仲良く楽しく、町内会でできたらいい。お友達誘って。
郷土博物館のような昔の街並み、つくりで混んでいるので、そこで市内の高齢者が子供に説明する といった世代間の交流に生かせるのでは。（市、老人クラブ、ボランティア）
得意項目ごとにクラブバンクのようなものをつくれれば。（市民、老人クラブ、市）
自分が持っている特技をおしえる。自分の年配で持っている得意なことを伝えられるようにすれば、教えたり教えられたり。（市民、学校、老人会）
ボランティア活動に入ってみる、自分のできる範囲が広がる
ボランティアなど、強い動機、目的を持てば入れそう
ボランティアの方々子どもを預かってもらうなどで協力できれば、別のコミュニティに参加できる、かな。
学校・PTA（8）
学校や大学と協力して、オープンな学びの場をつくれれば参加してくれる人も増えるかも。
P T A など子どもを通しての活動なら参加しやすい。ママ友など。
役員になったので P T A に参加した。P T A の中でも、友達同士で別のサークルに参加する、などさらに繋がりが広がる
子供を通じてのきっかけがあると参加しやすい
ボランティア・N P O 活動の情報発信→学校のサークルにボランティア活動に参加してもらう
大学がある、若者を巻き込む、つながり
デイサービス 地域の学校生徒が参加→学校と企業のつながり
学校や大学でオープンキャンパスみたいに学びの場を開く。興味がある人が自由に入れる。
方法・目的（14）
チップ。自治会でやっているもちつきがなくなっている。→高齢化担い手がいらない。継続するには 動力が必要。
チップのほか、企業の宣伝にもなるので、企業とボランティアが連携できれば
お祭り、イベントが今できない状況、（清掃とかになるかもしれないが）そういうのに絡めて各世代が参加できるように利用したほうがいい。
お祭りなど魅力ある仕掛けが必要、魅力があるものに、工夫をして参加してもらう。お祭りの着付けとか踊りとか。
お祭り、みんなで何かを作り上げる
三社祭があるが、新しい人は神輿の輪に入れない。素人を集めた会があると嬉しい。初めての人を受け入れる。
イベントで他のブースをのぞいたりして新たな興味のあるものと繋がったりした。今の状況ならネ

ットを活用してでもつながれる。
様々なテーマで活動できるようなきっかけを作る。例：三番瀬のクリーンアップ活動
イベントでもフリーマーケットなどで、多種多様な窓口があれば、参加しやすいのではない文章だとどんなひとがいるかわからない
やればよいということではなく、なぜそれをするのか？ということが理解されてはじめて意味を持つ
おやじの会から PTA 参加した。トリムバレーは近所の八百屋から、コミュニティの中から声かけする人がいれば
自分にとってメリットがあることがわかれば参加してもらえる。
一方的な奉仕活動ではなく、双方向で見えるような形があるといい。WIN-WIN
交通安全の旗振りでも目標のために他にかんがえることがあれば違う方法をとってもよい
ツール (11)
SNS のような自己開示ができるような必要最低限相手を知る機会ができれば
zoom などネット活用してのイベント、活動の事例紹介など。
オンライン上でも会話していくこと
コミュニティのポータルサイトがあると探しやすい
紙は分厚いし読まない、一方で転入時に浦安市の暮らし方講習会など
情報発信はアプリなど。浦安市は若い街なので、デジタルも受け入れられやすい。全国に先駆けて。
転入時に配信方法の希望をとるなど
転入時のつながりなら、オペレーションの工夫で伝わる、今ならワクチン接種時
転入したときにあったかもしれないが、途中からでも入れるような仕組みがあれば
転入のときに、子どもがいればこういう活動など情報は「紙」でくれるけど見ない。最初のときにアプリなどでつながれると、継続して情報が得られる。最初が肝心。
発信方法として、紙がなくなるのも困るので、選択できるように
その他意見 (19)
コミュニティと協力して進んでいく行動、やりたいこと、媒体にしてやりやすくする。役割に参加すると、間口が広がる
誰かとつながることにより、伝わる
色んな受け皿がたくさんあったほうが良い
ボランティア、探せばあるのはその通り。負担感がある。魅力がないと。親父の会。PTA の負担が大きいからやめた。PTA ではなくボランティアに。やりたい人がやる。人それぞれで OK と割り切る。
ボランティアで役に立ちたい意識はある。マッチングがあればいい。
ボランティアのネックがある、サポートが必要
挨拶をできるようにしている。機会を自ら作る。
初対面で決まってやるのがたくさんあったり、せめて顔見知り程度の人たちがいるとやりやすい。
皆さんが納得して参加できるといい。
他の人とコミュニケーションをとることによって、新たなコミュニティに参加するなど、新たに力が湧いてきて活動範囲が広がる
負荷のかからないということを伝える。

たすけてもらいたいということを開示していく。子供を預かってもらう等。
コロナ渦で一般の病院が受け入れてくれなかったり、困ったときに
会に参加することによって解決するようなことがあれば。
会社がやめて社会がなくなって困った。高齢化社会を作らないと行けない。会話ができる人を探す。サークルもなんでも浦安はある。片っ端から入ってる。
いろんなコミュニティはあるが、自由に過ごしたいから入らないのでは？祭りがあれば、楽しくなる。
いろいろな活動に1つは入ってね、といった情報発信があればいい。
普段の生活の中で近所の人と話すくらいでもいい 挨拶+アルファで違うことができるかもしれない。
共働きが家庭、介護をする家庭、そういった方々が無理なくできることを、参加者が多様なメンバーであったほうが可能性は広がる。

③対話3「市民会議を振り返って、まちづくりに関する条例に、どのような「キーワード」が含まれると嬉しいですか？」

交流・コミュニティに関するキーワード		
つながり	つながる	コミュニケーション
絆	協力	ネットワーク
世代間の交流を図る	ゆるやかな結びつき	人と人がつながるまち
個の尊重・多様性に関するキーワード		
多様性を認め合いながら住み続けられるまちづくり	個性を大事にできるまち	多様性
魅力、個人を活かす	違いを認める寛容さ	魅力の発信
多様性の尊重	自由	
市民参加・主体に関するキーワード		
わたしたち、わたしたちのまち	市民の街づくりへの参画意識が高い、未来	自分ができる社会貢献を考えるまち
市民目線、血流が流れる	市と市民の円滑なコミュニケーション	みんなが参加、みんなが協力
受動的でなく能動的に関わる		
水辺・環境に関するキーワード		
水際の環境	海、リゾート	水際
東京湾の環境	海を開かれたまち	脱炭素
連携・支えあいに関するキーワード		
市民との連携がとれるまちづくり	相互扶助	助け合うまち
思いやり	必要とされる関係性	顔が見える
その他まちづくりに関するキーワード		
人にやさしいまち	将来に向けてのまちづくり	可能性、挑戦
住みよいまち	ふるさとにしたいまちづくり	ふるさと
最先端の街	長く住みたい街	住みたいと思えるまち

住めば健康になる！	特別な浦安	健康
浦安市で育てば英語が話せるようになる！	ひとづくり	若い人も住めるまち
発展、循環、承継	災害に関する何か	災害に強いまちづくり
可能性、変化、次世代への継承	サステイナブル	Win-Winの考え方

④対話3「皆さん自身は、まちづくりにどのように関わりたいですか？」

まちづくりへの関わり
(自治会の立場で)お祭りの会等でいろんな人と関わり会いをもちながら自分のできる範囲で関わりたい。ボランティア活動にもっと積極的に入ってもらえるように考えたい
・若い世代がどう参加するが未来の街を作る ・成田市、ワクチン、職場で自治体と企業が協力する ・地域外でのボランティア活動している、地域のボランティア。 ・企業の結びつきが大事。企業の人への参加を呼びかけたい ・浦安が住んでいい
一市民として、まちづくり条例に協力したい。
いままでは市の活動なかった。地域のことに携わっていききたい。
クラウドファンディングなどハードル低いことから。公認会計士として地域に貢献したい。
クリーンエネルギーに変えていく。残された時間を自治会活動に
こういう機会ですの市のことを考えるきっかけになった。市から情報は欲しいが、自分でも情報を取りに行きたい。参加できればしていきたい。
コミュニケーションの場に参加したいし、その場を作っていく側でもかかわっていききたい。
コミュニケーションの場を自分でも作っていききたい
コミュニティに入って、企画したい。今住んでいるマンションの自治会などで企画して子供を集める。その他、おやじの会には入って企画して子供を喜ばしたい。
コミュニティの運営側に回り、コミュニティ活動の継続に尽力し、浦安市のまちづくりに参加していきたい。
これからもいろんなコミュニティに積極的に参加したい。団地内の無関心な人を巻き込むためにも、雑談などから始めて行きたい。
サークル活動や他にもいろいろな活動に参加していきたい。
ネットを活用して情報発信や活動に参加してみたい。若い世代も参加しやすいし。
ボランティアに関わっていたが、まちの関わりが少ない。見渡して何かを見つけている。
まずは同じマンションの方々へのあいさつや助け合いで、コミュニティまでいなくても多少のつながりができれば。
もっとディズニーランドと関わりがある活動があるといいなあ。
やれるところから参加。市のイベントに参加したい。自分の知見をまちづくりに活かしていきたい。
家の周りを綺麗にするなど、自分のできる範囲から街をきれいにしていく活動に参加する。
家族の洗脳。昔は、浦安のボランティアに参加していた。SNSを自分がやっても若い人に届かない。子供達が浦安のいいところを発信する。若い方に。

外国人に日本語を教える、英語勉強会に子どもに参加してもらう、など
気軽にできるところから始めていく
建築関係の仕事をしているので、機会があればそれを活かしてコミュニティ活動に還元できればいいな。
現状はコミュニティに属していないので、何かしらの浦安市内のコミュニティに参加して、市の中でつながりが持てれば。
高齢であっても能力がある人を活用していく
今まで、自分が上の世代に助けてもらった。この恩を次の世代につなげていくように活動していきたい。
今回のような場に関わるようにしていきたい。コミュニティに積極的に参加していきたい
今後は、参加しないひとにどうやって参加してもらうかなど、もっと活動に参加して行きたいと思った。
今後はもっと市の活動に参加したり、サークル活動等にも参加してみたい。
祭りで神輿が担ぎたい
散歩やジョギングなどで活用できる地図を作る活動に関わりたい。
仕事の量を減らしたので、今までやっているボランティアにさらに参加しようとしている。問題が多いのは事実。市に理解してもらう。相互理解、相互協力
仕事以外で話す機会を持つようにしたい。
子供や大人を対象とした、指輪などを作るといった、今の仕事の体験などで教えるようなことをやっていきたい。
市民の交流のイベント、企画、運営が出来れば手伝いたいと思っている。
市民の声を聞く場があれば積極的に参加したい。自治会活動にも今後は参加していきたい。
私たち世代と高齢者の関わりができるようになったら、その第一歩に関わっていきたい。子供が赤ちゃんの頃、高齢者の方に読み聞かせの会などでお世話になった。高齢の方にお手伝いできればと思っている。
自治会の行事に積極的に参加していきたい。
自分ができること、自治会の行事になるべく参加、主催者側のお手伝いする。役員になるので、できるようになったら、少しずつ参加する。交流を深める。
自分が興味・関心のあるコミュニティに入ってみようかな。どういふのがあるのかわからないので、調べるところから。ふるさとにしたいというのは良いと思うので、TDL以外にも誇れるまちに
自分の気持ちに応じてできるボランティアにかかわる
社会福祉やサークルに既に関わっている。現場は不満が多い。問題が多い。解決・整理する必要がある。
若い人が情報を見てない。今までの方法ではなく違う方法。地元の自治会に伝える。
若い世代、まちづくりの参加が薄い世代。積極的に参加する「つながる人」になれば。SNS デジタルリテラシー、市民に広げる
周りの人の情報の橋渡しをする。→市につとめていて情報が伝わっていないと感じた 窓口にいけば丁寧に教えてもらえるのに
助け合いに関わっていきたい

<p>情報の発信をしていきたい。自分自身も情報を見つけた時に喜びを感じた。見つけるのが難しい人に情報が見つけてもらえるように活動していきたい。</p>
<p>新たな学びの場を注視したい</p>
<p>身近なところからはじめる。公共の施設の掲示板を注意してみる</p>
<p>声かけになる人になっていきたい。何かをしたいという思があった。声掛けをしている人々を引き合わせるような場を作りたい。</p>
<p>長く住み続けたい中で、まちづくりに参加できる機会があれば、権利として積極的に参加していきたい</p>
<p>東京とのジョイントを意識し、若い人が住みやすいまちにしていきたい。</p>
<p>入れるコミュニティを探して入っていきたい。市民会議を5回にわたってやっても、直接会っていないが、これもひとつのコミュニティ</p>
<p>老人クラブ、子供達にスポーツ、お年寄りを通じて楽しそう、自分の充実感がある。子供達が次の世代につなげてほしい。大人をよく見ている。地域が仲良く</p>
<p>絆でつながっていければ。この会議に参加した理由も、大勢が参加して意見が聞けるから。オンラインより対面の方が伝わることも多いので、少し残念。コミュニティの参加は、ゆるやかに長く続けられれば</p>

(1) 浦安まちづくり市民会議だより 第1号

浦安まちづくり市民会議だより 第1号

第2回「浦安まちづくり市民会議」
を開催しました

会議はオンライン開催

まちづくりのルールを市民の皆様と共につくる「浦安まちづくり市民会議」の第2回目が、令和3年2月20日(土)に「Zoom」を使ったオンライン会議で開催されました。



総勢80名が参加

午前と午後に分かれて、それぞれ40名、40名、計80名と、大変多くの市民にご参加いただきました。



※各グループで対話したことを共有いただきました!

■当日のメニュー

1. 市長・浦安市あいさつ
2. 会議の目的説明
3. グループディスカッション
 - ①浦安市の良いところ、魅力
 - ②浦安市の気になるところ、課題
 - ③それぞれの幸せ、どんなまちが幸せ?

市長も
オンラインで参加!



裏面に続きます⇒

対話1：浦安市の良いところ、魅力

ご意見

- 境川の桜が綺麗
- 東京湾を一望できる公園の風景
- 三番瀬沿いの緑道
- 世界的なリゾート施設
- 昔ながらの街並みと新しい街並みが入り混じっているところ。
- 三社祭の100基以上の神輿

海や河川の景観や親水性、公園の数や広さを魅力として挙げる方が多かったです。また、世界的なリゾート施設や整備された住宅街や異国情緒あふれる風景がある一方で、漁師町の旧き住宅街や自然も残り、混在した魅力があるという話がありました。三社祭などのイベントも人気がありました。（浦安市）

対話2：浦安市の気になるところ、課題

ご意見

- 自分の住んでいる地区外のことが分からない
- 近隣や世代間でのコミュニケーションが不足している
- 液状化対策、今後の震災が不安
- 強風時の電車の運行停止や遅延
- 将来的な高齢化への懸念

市のことを市民が知らず、特に新旧の街で情報が分断されてしまっており、コミュニケーションが希薄化しているという意見が多かったです。また、安全・安心への関心も高く、液状化など、将来的な災害への懸念が挙げられていました。（浦安市）

対話3：それぞれの幸せ、どんなまちが幸せ？

ご意見

- いろんな意見を言い合うことが幸せな浦安
- コミュニケーションが多いまち
- 安心して安全に住めるまち
- 子ども・孫の代になっても住み続けたい街
- それぞれが自己実現できる環境

世代間・市民間のコミュニケーションの充実に関する意見が目立ちました。安心・安全な街であってほしい、高齢者や子供たちも将来住み続けたいと思える街であってほしいとの声もありました。個人の視点では、人それぞれが自分らしさを発見・実現できるまちであってほしいという声がありました。（浦安市）

本会議ではこれからも（仮称）まちづくりに関する条例の制定に向けて、市の将来像などについて議論を進めてまいります。

●ご参考●

第1回 浦安まちづくり市民会議は動画で公開中！



講演「新しいコミュニティとまちづくり～基本条例の制定に向けて～」

千葉大学大学院社会科学研究院
関谷教授

<http://www.city.urayasu.lg.jp/shisei/keikaku/1031564/index.html>

（本件に関するお問い合わせはこちらまで）

浦安市企画部企画政策課

〒279-8501 浦安市猫実一丁目1番1号

電話：047-351-1111（代表）

047-712-6039（直通）

メール：kikaku@city.urayasu.lg.jp

浦安まちづくり市民会議だより 第2号

第3回「浦安まちづくり市民会議」を開催しました

2度目のオンライン開催

前回に引き続き、今回も「Zoom」を使ったオンラインで開催しました。市民の皆さんも（事務局も）2回目となり、オンライン会議に徐々に慣れてきた様子でした。



6グループ 対話2 5-20年後の未来、例えば、浦安市がこうなっ

図書館サービス 今は充実している	不妊治療のサービス 海辺 海との間に物理的な障がい 防波などであれば良い	バス 新町～元町が充実するとよい	モレール駅は高齢者はやがて定年退職 トロリー・高齢ライドなどの福祉交通
健康	高齢者	働く	コミュニティー
住環境 災害などで住めなくなる困る	本型商業施設が持続的に維持できるとよい	学び	子育て
スーパー 一時閉鎖型店が撤退	公共交通が発達するがなくてもスーパーがなくなると困る	自然	医療
浦安駅と新浦安駅でつながるようにレンタサイクルなど	歴史	安全	文化
子どもが預かってくれる場所 待機児童が解消できている	新しい職種がなくていい 元町でもできれば職域、防災でも良い	江ノ島 高層でも歩きやすい工夫	三軒所 かかりつけ医 気軽にいければ老後も安心
		歴史・伝統	通勤の 편리さ
			市役所のサービス 休日開庁 駅前での対応

オンラインならではの会議運営

オンラインの特性を活かし、意見交換は模造紙等ではなく、「Googleスライド」を使い、出された意見を画面上で共有しながら進めました。

■当日のメニュー

1. 会議の目的説明、浦安市の概要説明
2. 自己紹介&前回参加してみて感じたこと
3. グループディスカッション
 - ①今の生活になくなった困るものは？
 - ②5～20年後、どんなまちになってほしい？
 - ③最も大切にしたいこと、どんな浦安市の未来を望む？

裏面に続きます⇒

対話1：今の生活になくなら困るものは？

ご意見

- 近所づきあいや自治会、祭りなど人とのコミュニケーションの場
- 散歩中など市民同士の気軽なコミュニケーション
- 市内を移動するバスと市外へ移動する鉄道などの交通網
- 立派な図書館（次世代に残したい）
- 整備された街並みや海が見える景観

人間関係の重要性からコミュニティやコミュニケーションを挙げる方が多かったです。また、都内へ通勤や通学をされている方からは、鉄道やバスなど交通網に関する声が多く聞かれました。施設では商業施設・買い物場所もありました。特に「図書館」を挙げる人が多かったです。（事務局）

対話2：5～20年後、どんなまちになってほしい？

ご意見

- 医療提供体制が充実しているまち
- 多世代の交流が活発なまち
- 多様性、老若男女・国籍などに関係ないコミュニティのあるまち
- 海の景観を活かした開発が進むまち
- 住んでいる人にとって誇れるまち
- 新しい人を呼び込める魅力のあるまち

未来の話のため、医療・健康・高齢者関連の話題が多かったです。また、これまで意見が多かったコミュニティについては、世代間に加え、外国との交流を望む声もありました。今後の開発には景観や自然との調和を求める声が目立ちました。特に、海や川を活かした施策を望む声が多く聞かれました。（事務局）

対話3：最も大切にしたいこと、どんな浦安市の未来を望む？

ご意見

- 健康で安心して暮らせること
- 安全・安心な暮らしを支える災害に強いまち
- 子ども高齢者も皆が互いに世話をし、生まれてから最期まで暮らせるまち
- 年代・性・国籍など問わず、普通に気軽にコミュニケーションが取れる
- 住んでいる人は住み続け、住みたい人は多く移ってくるまち

最も大切にしたいことでは、健康・医療や防災・減災など「安全・安心」に関する事項を挙げる人が多かったです。その他の意見として、コミュニティ・多世代交流・多様性といった趣旨の意見が多い一方で、若い世代にも選ばれる市や誇れる市といった都市アイデンティティに関する意見も聞かれました。（事務局）

次回（5月22日）は、まちづくりにおける市民と市の役割などについて議論をしていただく予定となっています。

（本件に関するお問い合わせはこちらまで）
浦安市 企画部企画政策課 〒279-8501 浦安市猫実一丁目1番1号
電話047-351-1111（代表） 047-712-6039（直通）
メール：kikaku@city.urayasu.lg.jp

浦安まちづくり市民会議だより 第3号

第4回「浦安まちづくり市民会議」を開催しました

各グループに課題を設定

今回は、「①防災」、「②環境・景観」、「③福祉・子育て」の3つの中から各グループで1つの課題をとりあげ、話し合いを行いました。



それぞれの役割を議論

グループディスカッションでは4～5人に分かれ、グループごとの課題に対して、個人・コミュニティ・市ができそうなことや、それぞれの役割について議論しました。

対話2「地域課題の解決が個人ができない場合、それぞれがどのように関わるべきだと思いますか？」
3. 福祉・子育て（高齢者支援、障がい者支援、子育て支援 等）

個人(市民)	コミュニティ (近所、ボランティア等)	市
近隣とのかわり	マンションでの活動 (集まる場の確保)	コミュニティをつくりやすい仕組みづくり (ファミリーサポート)
声かけ、あいさつ	防災以外にも参加	個人の活動を促める仕組み
集まる場での関わり	気づける範囲での関わりを増やす	まちづくり活動者、障がい者との接点がないため
サービスを積極活用→感想などを声に出せる	大学生と高齢者など世代の異なる世代のマッチング	提供しているサービスの積極な情報提供
利用していないサービス 気づけず利用などに対する関心を持つ	コミュニティに助けを求め、巻き込む仕組み	目的、問題意識が共通する力を結びつける仕組み
自身の経験を活かして協力	見守り、助け合い	
	活動内容を伝える (行政とも連携)	
その他	クインでの展開のような子どもも参加者とのかわりを必ず確認	

* 発表者を決める

■当日のメニュー

1. 会議の目的・概要説明
2. 自己紹介&第2・3回に参加して感じたこと
3. グループディスカッション
 - 1) 地域の課題に対して、自分だったらどのように関われそうですか？
 - 2) 地域の課題の解決に向けて、個人・コミュニティ・市はどのように関われそうですか？
 - 3) 個人・コミュニティ・市の役割とは？
改めて感じたこと・気づいたことは？



今回もオンラインで開催しました



裏面に続きます⇒

①地域の課題に対して、個人・コミュニティ・市はどのように関われそうですか？

ご意見

個人	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 水・食料・日用品の備蓄（防災） ➤ ゴミを拾う（環境・景観） ➤ NPO活動・団体などへの寄付（環境・景観） ➤ 近隣への声掛け、あいさつ（福祉・子育て）
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 町内会での安否確認（防災） ➤ 防災キャンプなど誰もが楽しめる活動（防災） ➤ ゴミ拾いなどのイベントの実施（環境・景観） ➤ 気軽に話せる場所を提供する（福祉・子育て）
市	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 詳細な災害情報の発信（防災） ➤ 避難場所の周知（防災） ➤ ゴミの分別やりサイクル方法などの情報発信（環境・景観） ➤ 清掃活動の広報（環境・景観） ➤ 提供しているサービスの積極的な情報提供（福祉・子育て）

※括弧内はグループディスカッションで扱った課題です。

地域の課題に対して個人・コミュニティ・市がどのように関われそうか具体的に話し合いました。

個人については、あいさつなど身近な行動に関して多くの意見がありました。「できそうなこと」はあると考える方が多い一方、情報やきっかけが少なく個人では難しいという意見がありました。

コミュニティについては、イベント開催や情報発信などの活動に関する意見に加えて、気軽なコミュニティ作りを求める意見がありました。

市については、情報発信や広報活動、情報提供といった意見がありました。

（事務局）

②個人・コミュニティ・市の役割とは？

ご意見

個人	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自分に出来る範囲で活動する ➤ コミュニティや市の取組への自発的な参加 ➤ コミュニティに関する情報を自ら集め、関心を持つ ➤ 近隣とコミュニケーションをとる
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 世代間の交流を図る ➤ 気軽に参加できる活動をする ➤ 市民をコミュニティに巻き込む仕掛けづくりをする ➤ コミュニティ活動の情報発信
市	<ul style="list-style-type: none"> ➤ わかりやすい情報発信 ➤ ボランティア・NPO活動などの情報の発信 ➤ コミュニティ活動への支援 ➤ 目標の明示や計画の策定

①の意見を踏まえてそれぞれの役割について話し合いました。

個人の役割では、自分に出来る範囲で活動するに加え、市政やコミュニティへの参加、情報収集などの意見がありました。

コミュニティについては、役割より、コミュニティの存在意義や参加への障壁に関する意見が多くありました。

市の役割では、情報発信に係る意見が目立ちました。

（事務局）

次回（6月26日）は、まちづくりにおける市民と市のつながり（連携・協力）について議論をしていただく予定となっています。

（本件に関するお問い合わせはこちらまで）

浦安市 企画部企画政策課 〒279-8501 浦安市猫実一丁目1番1号

電話047-351-1111（代表） 047-712-6039（直通）

メール：kikaku@city.urayasu.lg.jp

浦安まちづくり市民会議だより 第4号

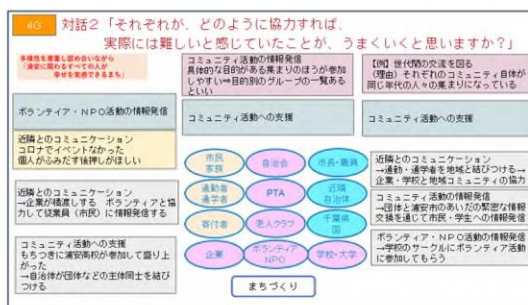
第5回「浦安まちづくり市民会議」を開催しました

市民と市のつながりについて議論

前回話し合った個人・コミュニティ・市の役割に関して実際に難しいと感じる部分話し合い、その難しい部分の解決に向けて、それぞれがどのようにつながればうまくいくのか議論しました。

市民会議の振り返り

これまでの市民会議を振り返って、条例にどのようなキーワードが含まれると嬉しいか話し合いました。最後に、ご自身の今後のまちづくりへの関わり方について話していただきました。



■当日のメニュー

1. 市長あいさつ、会議の目的・概要説明
2. 自己紹介&これまでの会議に参加して気づいたこと
3. グループディスカッション
 - 1) それぞれの役割のまとめから、実際には難しいと感じる部分がありますか？
 - 2) それぞれがどのように協力すれば、実際に難しいと感じたことが、うまくいくと思いますか？
 - 3) 市民会議を振り返って、まちづくりに関する条例に、どのような「キーワード」が含まれると嬉しいですか？
皆さん自身は、まちづくりにどのように関わりたいですか？

裏面に続きます⇒

対話1：それぞれの役割のまとめから、実際には難しいと感じる部分はありますか？

ご意見

- 【個人】
 - 近隣とのコミュニケーションの取り方や地域サークルへの参加の仕方がわからない
 - コミュニティに入る動機や興味がない
- 【コミュニティ】
 - コミュニティ活動の情報発信が少ない
 - 若い人が無関心
- 【市】
 - 情報過多で、自分に必要なものが分からない
 - 情報を必要としている人に直接届けることが難しい

個人については、コミュニケーションに関する意見が多くありました。
 コミュニティについては、情報・きっかけなどに関する意見が多くありました。
 市については、情報発信に関する意見が多くありました。
 (事務局)

対話2：それぞれがどのように協力すれば、実際に難しいと感じたことが、うまくいくと思いますか？

ご意見

- 学校や大学が、地域に場を提供する
- 自治会が、地域住民を巻き込んでイベントなどを開催する
- 市と企業が、協力してイベントを開催する
- 市が、コミュニティ活動の情報発信を行う
- コミュニティのポータルサイトがあると探しやすい

それぞれが新たに連携・協力することで、コミュニティに参加しやすくなるなどの意見が多く聞かれました。
 また、協力の手段としてインターネット、SNS等を活用した情報発信についての意見が多くありました。
 (事務局)

対話3：市民会議を振り返って、まちづくりに関する条例に、どのような「キーワード」が含まれると嬉しいですか？ 皆さん自身は、まちづくりにどのように関わりたいですか？

ご意見

【キーワード】		
つながり	絆	みんなが参加
多様性の尊重	違いを認める	水際の環境

- 【まちづくりへの関わり】
 - 自分の知見をまちづくりに活かしていきたい
 - 市民の交流イベントの企画・運営を手伝いたい
 - いろいろなコミュニティに積極的に参加したい

キーワードについては、交流・コミュニティに関することや、多様性に関することが多く挙げられました。
 まちづくりへの関わりについては、主体的な活動や、コミュニティに関する意見が多くありました。
 (事務局)

全5回にわたる浦安まちづくり市民会議にご参加いただき、誠にありがとうございました。
 いただいたご意見を参考に、今後、条例の検討を進めてまいります。懇話会の内容については、市ホームページで情報発信します。
 (事務局)

(本件に関するお問い合わせはこちらまで)
 浦安市企画部企画政策課
 〒279-8501 浦安市猫実一丁目1番1号
 電話047-351-1111 (代表)
 047-712-6039 (直通)
 メール: kikaku@city.urayasu.lg.jp

浦安まちづくり市民会議
実施報告書

令和3年（2021年）7月

発行 浦安市企画部企画政策課
千葉県浦安市猫実一丁目1番1号
電話 047-351-1111